

会長のページ 30年度期執行部	河野 雅行	3
日州医談 希望を紡ぐリハビリテーションに向けて	石川 智信	4
はまゆう随筆(その1)		6
大西 雄二, 谷口 二郎, 田畑 直人, 宝珠山 弘, 長嶺 元久 山田 琢也, 坂田 師通, 高崎 眞弓, 原田 一道		
エコー・リレー(515)	桑原 正知, 石田翔太郎	13
宮崎県医師会役員等名簿		14
国公立病院だより(JCHO 宮崎江南病院)	白尾 一定	18
宮崎大学医学部だより(附属病院 医療情報部)	荒木 賢二	20
専門分科医会だより(皮膚科医会)	成田 博実	21
メディアの目 ◎通信社って?	高城 靖	23
診療メモ ロボット支援手術 (da Vinci サージカルシステム)	黒岩顕太郎	70

表彰・祝賀	15
宮崎県感染症発生動向	16
あなたできますか?(平成29年度医師国家試験問題より)	22
各種委員会(勤務医委員会)	24
ベストセラー	25
平成30年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	26
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議	28
九州医師会連合会常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会	30
日医インターネットニュースから	32
理事会日誌	34
県医の動き	39
追悼のことば	40
会員の異動・変更報告	41
ドクターバンク情報	45
医師国保組合だより	49
行 事 予 定	53
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	55
宮大医学部学生のページ	72
あ と が き	76

お知らせ クールビズについて	27
平成30年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い	29
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	31
宮崎県医療勤務環境改善支援センター	44
医師資格証を持ちましょう	50
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	51
第2回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	69
郡市医師会への送付文書	74

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

夏の海

夏の海

太平洋 南の島

青い海に浮かぶ夢のような青島
今にも波しぶきが聞こえてくるようで
人も同じ ネコちゃんワンちゃんたちも
サーフィンを楽しんでいる しあわせ
描いてみました。

都城市 さか酒 い井 みわこ美絵子

会長のページ

30年度期執行部

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

先日、の県代議員会で30年度期執行部を継続担当することになりました。重責に身の引き締まる思いです。社会は国内外ともに混沌としています。国内では少子高齢化、経済成長の鈍化が進み医療を取り巻く情勢にも厳しさが増してきております。前執行部では、役・職員一団となって取り組んでまいりましたが、成果の上があったものがある一方で、そうでないものも多くあります。医療を巡る問題は山積しており、ほとんどが継続問題で、更に新問題も加わっております。即決即断で解決できる例はそれほど多くはありません。正確な情報を集め、地道に対応するのが良策です。日医や九州他県との連携、行政や大学・関連団体との連携を密にして対応してまいります。私達の意見を通すには医政も取り組むべき重要項目です。しかし、何と申しましてでも会員との連携が最も重要です。

様々な意見を自由に表明できるのは健康な社会の証拠です。我々の組織も健全な団体でありたいと思います。しかし、同じ目的の場合には力を合わせることも必要です。日医の提唱している「公的国民皆保険を守ること」「国民にとって安心安全な医療を提供すること」は地域医療を行う我々の考えと一致します。更に、県医師会は加えて「会員を守る」ことも重視したいと考えております。

我々医師は地域医療に徹するのみの孤高を気取ってばかりはおられません。要望を通す力も必要です。

本年度の我が県での新専門医研修者は37名と全国最下位でした。若手医師不足が深刻な県内医師の平均年齢は全国よりも高く、全医師の過半数が50歳以上です。このままでは将来のわが県の医療は悲惨なものとなります。県・大学・関係諸方面と連携して今まで以上の取り組みが必要です。地域の衰退は人口減少が主たる原因ですが、それに拍車を掛けるのが地域医療の崩壊です。人の集まるのは安心して暮らせる所です。医師不足と共に深刻なのが医療従事者特に看護師の不足です。宮崎県は相当数の看護師を養成しておりますが、その半数近くが県外に流出しております。昨年度の県立看護大卒業生90名の内、県内残留者は奇しくも37名でした。折角養成しても出て行くばかりでは慢性的な看護師不足が続きます。

今期執行部はベテランの濱田副会長と宮崎市郡から山村先生を新副会長に迎えました。その他、郡市から新たに赤須、園田、瀬之口、大塚先生に理事として加わっていただきました。いずれの面々も一騎当千のやる気に満ちた先生方ばかりです。若い力を存分に発揮していただきたいと思います。しかし個人がいかに優秀でも統制のない動きでは組織としての力は発揮できません。社会情勢の動きに振り回されず、且つ、時世に乗り遅れることなく注意しながら、先に述べた諸問題に皆で力を合わせて挑んでいきたいと思ひます。会員諸兄のご協力をお願いします。

(平成30年 6 月20日)

日州医談



希望を紡ぐリハビリテーションに向けて

常任理事 いし かわ とも のぶ
石 川 智 信

今年、医療報酬と介護報酬の同時改定が行われた。厳しい財政状況の中でわずかなプラス改定であったが、現場の実感はいマイナス改定にひとしい。特にリハビリテーション医療をめぐる状況は、改定ごとに厳しさを増している。その原因は、本来リハビリテーションは医師の管理のもとに行われる医療であるという原則を無視して、介護保険導入時に医療から介護に付け替えられたことが大きい。しかしそれ以上に大きな問題は、私たち医師の大多数がリハビリテーションに関心を持ってこなかったことであろう。大学でのリハビリテーションに関する講義時間は、昔も今も1～2時間程度と変わっていない。その結果、報酬改定時に届けられるリハビリテーションの現場の声の大きさが、ほかの領域よりも弱くならざるを得ない。

私自身は在宅医療を志して24年前に開業したが、当初から在宅療養を支える手段としてデイケア(介護保険制度導入時に通所リハビリテーションと名称が変更されている)を開設している。本人のADLを高めることで、生きる意欲を持続させ、家族の介護負担を軽減することが目的であった。今後高齢化の進行とともにリハビリテーションの必要性は高まることこそあれ、減じることはない。今回リハビリテーションをめぐる現状と、将来の方向性について私見を論じてみたい。

1. 医療保険におけるリハビリテーションの現状と課題

① 急性期のリハビリテーション

以前はICUなどの超急性期の医療現場や、術直後の医療現場に療法士(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)を見かけることはなかった。急性期は安静を保つことが第一とされていたからである。しかし早期からのリハビリ介入が、予後の改善に役立つというエビデンスが積み重ねられてきた。またそのことが入院期間の短縮にもつながることから、前々回の医療報酬改定では急性期の病棟であっても療法士を専従として配置することが評価されるようになり、急性期のリハビリに陽が当たるようになっていく。しかしまだまだ報酬は不十分である。

② 回復期のリハビリテーション

リハビリテーションが医療で行われていた時、基本的に患者さんが希望すればエンドレスに続けることができた。しかし医療報酬の引き締め策の結果、リハビリを受けられる日数に上限が設けられることになった。さらに疾患別にその日数が決められ、最も長い脳血管性疾患に対するリハビリでも発症日から起算して180日までとなった。かつて東大の著名な免疫学者であった多田教授は、脳梗塞の重篤な後遺症を負いながらもリハビリによって研究者としての仕事を継続していた。リハビリの打ち切りは自分にとっては死の宣告であると、朝日新聞の論壇

に投稿し、反響を呼んだ。その中で彼は、なぜ医療者は自分たちと一緒にあって反対の声を上げてくれないのだと憤っていた。神経難病と失語症などの高次脳機能障害に関しては日数制限からは除外され、医療保険でのリハビリを継続できるが、実施医療機関が少なくなっているのが現状である。

2. 介護保険におけるリハビリテーションの現状と課題

生活期(維持期)のリハビリテーションの受け皿は、事実上通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションの二つしかない。ともに介護保険の認定を受けなければ利用できない。現時点では要支援の人も予防介護事業として、回数の制限はあるものの利用できる。

しかしながら通所介護サービスや有料老人ホームを利用し始めると、通所リハビリや訪問リハビリが打ち切られることが多い。それは、それぞれの施設が要介護度に決められた限度額をぎりぎりまで使うため、リハビリを受けるための余裕がなくなってしまうことに起因する。ただそれは適切なケアマネジメントがなされていないからであり、今回の改定でケアマネジャーに対するリハビリの重要性を認識させるための仕掛けが講じられることになった。

3. 地域総合支援事業としてのリハビリテーションの現状と課題

介護保険の認定が自立と判定された虚弱者に対する支援は、平成29年度から介護保険から外され、各市町村が独自に行う地域総合支援事業で行うことが義務付けられた。当面は要支援者に対する予防介護事業と同じメニューを提供する市町村がほとんどであるが、今後財政負担を軽減するためにボランティアによる事業に移行していく可能性が高い。各市町村の地域力が試

されることになる。リハビリテーションに関しては、理学療法士など各種の療法士が、所属する施設から派遣されてお手伝いをするなどなどが期待されている。ただ高齢者の多くが複数の疾患を持っており、医学的なリスク管理を誰が行うのが問題になってくる。それはかかりつけ医の役割になるであろう。

4. おわりに

私が在宅での緩和ケアに取り組み、デイケアを始めた頃、医師の関心は治す医療に集中していた。ある医師から、敗戦処理のような医療にはモチベーションが湧かないと言われたことが忘れられない。確かに自分自身が大学病院に身を置き、先進医療に夢中になっていた時は同じ感覚であった。ただその後緩和ケアの研修が、癌の医療に携わるすべての医師に義務付けられ、その必要性が共有されるようになった。しかしながらリハビリテーションについては、いまだに医師達の関心は乏しいのが現状である。だが高齢者が増え続ける中、治す医療だけでは不十分である。患者さんが家族の中であるいは地域の中で、自身の役割を見つけて明日への希望を紡いでいくためには、リハビリテーションは極めて重要である。そして主治医が、患者さんのリハビリをほんの少しだけ後押ししてあげると、その効果は大きなものになる。

今回の介護報酬改定の中で、訪問リハビリテーション事業所に主治医としての情報を提供するにあたって、日本医師会が行うリハビリ研修会を受けることが義務化された。おそらく次回以降には訪問看護指示書でリハビリの指示を行う場合にも、同様の研修会の受講が義務付けられる可能性が高い。どうか医師会会員の皆様には、患者さん方がリハビリ難民とならないようにご協力をお願いしたい。

は ま ゆ う 随 筆

その 1

(7, 8月号に分けて掲載いたします)

脳塞栓症になって

宮崎市 大西医院 おおにし 大西雄二 ゆうじ

1月15日に発作を起こして緊急入院、内頸動脈の血栓による脳塞栓症であった。動脈が突然詰まった場合、症状はひどく意識レベルは低下する。現在は「高次脳機能障害」の「失語症」の状態である。左半球には言語野がある。ただ麻痺は残ってない。私は4月27日に退院した。103日間の入院であった。

現在は障害が残ったが、徐々に回復していく模様である。体力の回復、そして自分の医業が続くようにがんばろうと思う。

この病気になってから生き方を考えた。最初の1～2週間は言葉が出なかった。これは「失語症」の症状である。リハビリは「言語聴覚士」の仕事である。失語症からの回復は8%であるという。文筆家の「失語症」の著作を読んでいたが大変なものである。

最初は「かな」文字からの学習だ。「ひらがな」「カタカナ」「漢字」の練習である。遅々として進まなかった。2か月終わってから、私の不安が現実のものとなった。

3月に私の署名記事が3編出た。「若山健海と種痘人名録」と、あと2編は宮崎市郡医師会の『医友しののめ』である。これは1月15日以前に書いたものである。

私はこれから文筆を続けていけるかどうか。問題は記憶力や判断力である。これには問題はなさそうである。

まず最初に「西南戦争と宮崎の医療」が資料を基にようやく仕上がった。5月号に掲載していただけた。次は6月22日締切りの「烏帽子峠、鳥居峠－鶴戸神宮」である。これは『医友しののめ』で、これもなんとか大丈夫である。7月1日「牧水と海上の道」高名な歌人である先生による出席会である。ようやく何とかなりそうだ。私の言語能力の回復は8割であろうと思うが出席するつもりである。

私は全てをゼロからやり直すつもりである。これは私の診療においても同様だ。これから最初に経験する様々な出会いや経験が文筆で表現できるだろうか。それが気がかりである。



T. S.

マイトリエという店

宮崎市 たにぐちレディース たにぐち じ ろう
クリニック クリニック 谷 口 二 郎

2～3か月に一回、自宅に段ボール一杯に美味しいパンが送られてくる。それは私の娘から送られてくるのだ。

娘は結婚して今北海道のニセコという所に住んでいる。あのスキー場で有名なニセコなのである。冬になると2～3mの雪が積もる。そのパウダースノーは世界的に良質の雪らしく、外国からも沢山のスキーヤーがやってくる。とはいってものどかな田舎町。はたしてそこでやっていけるのか心配だった。しかし夫の生まれ故郷なのでそこでパン屋をオープンすることにしたのだ。

娘は京都の製菓学校を卒業した後、近くのレストランに就職し、今の主人と知り合った。その後結婚してニセコに住むことになったのだ。夫はパティシエで札幌にある洋菓子店での修行を終え、娘はパン、旦那は洋菓子担当として自分の店を開店したのだ。

何せ冬になるともの凄い雪で、商店街でオープンしてもお客さんは来ないだろう。そこでニセコ駅前温泉「綺羅乃湯」の施設内でオープンすることにした。分かり易く言うと「道の駅」みたいな所である。そうすれば冬でもスキー客が立ち寄ってくれるからだ。それでも初めてする商売。ゼロからのスタートでかなり苦労したようだ。

しかし平成28年4月30日についてオープンした。店の名前は『マイトリエ』。娘の名前は“マイカ”という名前。字は“舞鳥”と書く。これを音読みにして“マイトリ”を頭に付け、語尾にアトリエの“エ”を付けた造語である。彼女の姉がその名付け親だが、中々良い名前だ。私はまだ一度も行ったことはないのだが、家内は一度訪れている。何せ田舎なので売るのも大変なのであるが、美味しいのでお蔭様で売り切れる時も

あるらしい。

毎日色々なパンを試行錯誤しながら作っている。その種類ざっと50種類。最近は宮崎名物のチキン南蛮が入ったパンも作ったらしいが、好評ですぐに売り切れたという。そういう訳で、色々試行錯誤して作ったパンや美味しいと評判のパンを段ボール一杯に入れて送ってくるのだ。

届くと暫くはこの娘のパンが朝の食卓に並ぶ。親バカかもしれないが実に美味しい。これからも楽しみにパンが送られてくるのを待ちたい。



院長が何を考えているかわかりませんⅡ

宮崎市 宮崎医療センター た ばた なお と
病院 田 畑 直 人

ということで院内ネットワークシステム「あおぞら」に作ってもらった院長室の“日々雑感”より2話ほど。

①『神様、どうか・・・』

真鍮のドアノブを恐る恐る回すと部屋の中からクレゾールの匂いが漂ってきます。古い木造

の病室の窓という窓は暗幕で遮蔽され、暗闇の中にばあちゃんの弱弱しい息遣いだけが聞こえていました。ケイレンが起きるからと、音をたてないように息をひそめて代わる代わるにしわしわの小さな顔を覗き込むのでした。

田舎の父方のキクばあさんは、女手一つで子供5人を育て上げた苦労人でした。ある年、七夕の竹切りに山に行って脚に小さな怪我をし、そのまま田んぼに入って破傷風菌に感染したのです。当時の破傷風は死亡率がとて高く、キクばあさんもそのまま永い眠りにつきました。

今年も七夕の季節がやってきました。想いを込めたたくさんの短冊が飾られた病棟の笹竹を見ると、1年に一度しか会えない織姫と彦星の切なさに加えて、私たち孫の七夕のために死んでしまったキクばあさんが思い出されて少々センチメンタルになります。

僕も願いを短冊に・・・“神様、どうか病床稼働率が上がりますように”

②『女は自分を笑わせた男しか思い出さず・・・』

中学校の同窓会に行ってきました。薩摩半島南端の小さな学校でしたが、還暦記念ということで県内外、遠くはタイから50人ほどが駆けつけていました。45年ぶりに会う友人も多く、はじめは出所不明な顔もたくさんありましたが、酔いが廻るにつれてセピア色の写真だった思い出もカラーの動画となって溢れ出てくるのでした。

人は変わらないものです。ひょうきんだったヨネちゃんは、「あの鐘を鳴らすのはあなた」を熱唱しながら股間につけた鐘を打ち鳴らして走り回り、自慢しいだった星君は自衛隊で覚えた銃の撃ち方を得意げに語り、意地悪だった忠は相変わらず口が悪く、おしゃべりだった洋子はひたすら明るくしゃべり続けていました。

姫は来ませんでした。変わり果てたみんなの姿を眺めながら、15歳のままで網膜に焼き付い

た美しい横顔が、酔った頭の中をぐるぐると飛び回っていました。初恋はいつまでたっても酸っぱいものです。

“女は自分を笑わせた男しか思い出さず、男は自分を泣かせた女しか思い出さない”

アンリ・ド・レニエ

思えば遠くへ来たもんだ

延岡市 ほうしやま ほうしやま ひろし
子どもクリニック 宝珠山 弘

誰も一生の間に幾度か今来た道をふり帰り感傷にひたるものだ。

先日、古い机を整理していたら、学生時代(医学進学課程2年)の時に綴った長編日記が見つかった。(久留米1人ある記と書いている)

時あたかも、昭和27年7月久留米大水害の時である。

鉄道、バスが不通となり、夏休みも帰省出来なかった。

2年後学部の試験があるので、下宿で勉強をかねて、その間に過ぎし昔をしのいで、綴った日記であった。

小高い丘より、幼い日よりの思い出は順序よく思い出せない。

思い出すものは、ツカの間の太陽に照らされて、ポツポツと見えるものばかりである。しかしこの見えるものの思い出こそ、私にとって大切な分野であろう。中学の学徒動員→高校時代→大学と思い出の桜。嬉しいサクラ。そして涙の桜。と、いろいろ眺めた。

人生は先のことはわからぬものばかりこれ

“古事記にある如く”“古きをたずねて新しきを知れ”“いろいろな分野の歴史を学べ”“野球で云えばキャッチボールを学べ”“忘れた方がよいことは忘れろ、そして邁進しろ、人生は心がけが大切であり”“心にニシキを飾れ”“過去を思い出して苦しむより思い出さぬがよい”(しかし人間だもの)とブッタ様は云ふ。又ブッタ様の申した如く「この世は美しい」と、人生は1回、命も1つ、(人生わずか50年)、「人生はハカナイことも多い」

しかし人生にはうた(歌、詩)がある、夢がある。喜びと悲しみもある。“自分の信念をもち”“初心を忘れず”

ウツ状態にならない様に、時にブッタ様の言葉を思い出し“博愛衆に及ぼし”1日1日を大切に過ごしたいものである。

“ふる雪や昭和も遠くなりけり”

やまひだれ

宮崎市 長嶺内科クリニック なが みね もと ひさ
長 嶺 元 久

漢字の部首に注目して私が詠んだ短歌を若干の解説を付して、ご紹介します。本阿弥書店が発行している短歌総合雑誌「歌壇」平成30年5月号に掲載された作品を一部改変しました。表記は旧仮名使いです。

朝月の日向地鶏をつまみつつかたみに酌まむ
ひよみの酉を

真黒にて目を分き得ざる横線のひとつ欠けたる鳥のしき啼く

鳥距溝鳩胸鷺手鷺口瘡烏口突起と身内に鳥が

艸と木に上と下とを挟まるる三つの心 虫たちを待つ

エイツとふ呪(まじな)ひの声薬草酒もて治しけむいにしへの醫師は

平安の時世(ときよ)に偽医者居りにけり病草紙に画(ゑ)と文(ふみ)のあり

そのかみの人ら病みけり陰(つび)虱(じらみ)霍乱痔瘻齒槽膿漏を

みづからがつらさ知りたるいたつきよ帯状疱疹インフルエンザ

やまひだれに鼠をしるす国字なりペストと辞書に記されてあり

焼酎の広告載れるかたはらにアルコール依存症の記事あり

神経科神経内科精神科心療内科の違いを述べよ

やまひだれ持ちゐる文字はでき得れば「癌」「痛」でなく「療」「癒」書きたし

一首目、「朝月の」は、「日向」にかかる枕詞です。「ひよみの酉」は、酒の隠語でもあります。

二首目、「鳥」を詠んでいます。

三首目、部首「鳥」を含んだ医学用語を挙げています。

四首目、「薬」の字です。

五首目、「醫」の字にご注目下さい。

六首目、七首目、「病草紙」という絵巻物に平安時代の末期から鎌倉時代初期の病氣や治療法などの様子がつぶさに描写されています。

九首目、「瘰」の字です。

八首目、十首目、十一首目、十二首目は説明不要でしょう。

漢字の部首の面白さ、奥深さを少しでも味わっていただいたでしょうか。

音楽と♪ともに

宮崎市 藤木病院 ^{やま}山 ^だ田 ^{たく}塚 ^や也

はまゆう随筆には初の寄稿機会いただき感謝！

大町陽一郎氏の著書にあるが、人間は子もり歌で育てられ最期は木魚を叩きお経をあげられるように‘揺りかごから墓場まで’音楽と別個には存在できない。同感だ。

私もジャンルを超え音楽に触れてきた。幼少時ピアノを習った。親も音楽の道に進めようなどという意図はなかった。やる気もなかったし男子がピアノって女々しい・恥ずかしいと当時は思い込み誰にも言えなかった。教則本バッハインベンション、ツェルニー 30番の途中で小6でやめた。ただ姉がよく弾き語りをしていた記憶があり、私も大学生になりピアノを再開、独りで弾き語りを始め、社会人になってからはまた習い始めた。大学時代の80年代後半から90年代は邦楽ポップスも百花繚乱。カラオケでは久保田利伸やB'zの曲を歌う一方、弾き語りではI LOVE YOU（尾崎豊）、レイニーブルー（徳永英明）などバラードばかり選んでいた。レパートリーが少しずつ増え、今では春はさくら（独唱）（森山直太朗）、この時期は蕾（コブクロ）、秋や冬はANSWER（槇原敬之）、僕へ（EXILE）、PRIDE（三代目JSB）などその時の気分で弾き語りする。発表会の時はいつも緊張しまくり、声が出ない・指はミスタッチと散々で、妻から助言・ダメ出しを頂戴するが、会のあとは業種の異なる他の生徒さん達と交流できるのもいい。本県医師会員の中にピアノが本当に上手な先生が数名おられるのも存じ上げている。

宮崎国際音楽祭は毎年の楽しみだ。今年は三浦文彰さんのヴァイオリン、萩原麻未さんのピアノと本県出身の藤木大地さんのカウンターテナーを拝聴、堪能できた。

あの甲子園での滋賀学園の9番バッターの応援曲やスポーツジムのメガダンスというスタジオプログラムの曲がカッコイイとか、ホークスの柳田選手が打席に向かう時の曲が気になりチェックしたり、どんな時でも音楽の心地良さとともに生きている。最後に両親や歴代のピアノ恩師に感謝！

ザリガニ事件

高鍋町 愛生堂坂田病院 ^{さか}坂 ^た田 ^{もろ}師 ^{みち}通

亡き父の親友に土木建築業を営む棟梁がいた。棟梁は、元々は母の小学校の同級生であったが、父と大変親しくなり、父を「ヤブ」あるいは「ヤブじい」と呼び、しばしば旬の物を手土産に我が家を訪れていた。父も棟梁が来ると、とても楽しそうであったし、棟梁のことを「口は高鍋で一番悪いけど、心は高鍋で一番きれい」と褒めていた。

ある年の9月だったと思うが、棟梁が「ヤブ食べてくれ」と言って、沢山の生きたままのイセエビを持って来られたことがあった。まだイセエビ漁の解禁前で、テレビでは密猟者を摘発したというニュースが流れていた。父は「まだイセエビは獲ってもいかんし食べてもいかんよ」と棟梁に話をしたが棟梁は「ヤブじい、これのどこがイセエビか。ザリガニじゃ。ヤブじいは目が悪くなったんか」と応じる。父は「法律は守らなければいけない」と言うが棟梁は「これはイセエビではない、ザリガニだ」と一歩も譲らない。しばらく二人の応酬が続いたけれど、

とうとう父は「ごめん。あんたがザリガニと言うならザリガニじゃ。ザリガニありがとう」と言ってイセエビを受け取った。このザリガニ事件から、しばらく父は大変上機嫌であった。父は三度の食事よりも歌舞伎をこよなく愛していたが、勧進帳の富樫左衛門や忠臣蔵の垣見五郎兵衛の気分を楽しんでいたのではないかと今は考えている。

父は大正14年の生まれであった。父の世代は、黒いものを時には白だと言える遊び心や水が清ければ顔を洗い濁っていれば足を洗うという柔軟さが許されていた時代であったような気がする。一方、昭和30年代生まれの我々は、魚も絶対に住めないようなカルキ臭いプールで頭のおかしな監視員に見られながら窮屈に泳いでいる。それでも、人として医師として“大切な心”は失わないようにしたいと日々思っている。

アケボノツツジに包まれた縦走

延岡市 九州保健福祉大学 たか さき ま ゆみ
高 崎 真 弓

九州の岳人をもっとも魅了する山行は、祖母山から傾山への縦走である。距離は18kmだが、出入りを加えると26~27kmになる。

筆者も数年前に一度歩いたことがある。今年、喜寿を迎え、県医師会から銀盃をいただいた驚馬にできるだろうか。喜寿記念に TENT を担いで1泊2日のソロトレッキングをやってみようか。ゴールデンウィークの好天の日にさっさと出かけるには、ソロ山行がいい。しかし、前回と同じコースではつまらない。出入りを少し

変えてみようか。杉ヶ越コースで傾山へ入山するのはどうだろう。登山は歩いているときより、考えているときのほうが楽しい。

杉ヶ越のコースタイムは、登りが3時間55分、下りが3時間40分で、登りも下りも同じという珍しいコースだ。春分の日も過ぎ、日が長くなった3月末に下検分のつもりで試してみた。後半はアップダウンのハシゴの連続である。目指す峰は見えても、なかなか到達しない。それでも12時過ぎに着いた。快晴無風の頂上で、豆粒のような祖母山を眺めながら昼食。昼寝をしたかったが、13時に下山を開始。1時間ほど下ったところで、コースを見失った。しばし探して、また上がり下り。

「あれ、このハシゴはさっき通った・・・」「下るはずが、登っているのでは」アップダウンの連続なので登っているか下っているかわからない。スマートフォンにダウンロードしてきた地図を開き、GPSを使って歩いてみたら間違いなく登っている。時計を見ると、すでに15時を30分も過ぎている。18時には暗くなる。明るいうちに下山できるか不安になる。長時間の歩行とハシゴで脚はつりそうである。脚をだましだまし使いながら下山を急ぐ。夕闇迫る17時30分に車を止めた県道に出た。

この難コースを10kg以上の荷を背負って歩くのは無理と、あっさり諦め、縦走は黒仁田登山口からの入山と決めた。天候を考えゴールデンウィークの前半にした。九折越小屋にザックを置いて傾山を往復し、それから笠松山、本谷山を越えてブナ広場に TENT を張り、翌日は古祖母山、障子岳、天狗岩、祖母山を歩いて北谷登山口へ下りた。

傾山から見ると18km先の祖母山はまことに小さい。これが、歩いているうちにどんどん大きくなる、この感激がいい。例年、ゴールデンウィークの終盤に満開になるアケボノツツジが、今年は早々と満開で、素晴らしい花見の縦

走である。

ブナ広場のテントは3張で、いずれも男性ソロトレッカーだ。単独登山は危ないというが、自分のペースで歩けるのがいい。トラブルはすべて自分で対応しなければならないが、自由度の高いひとり旅だ。

20年経過後新装移転した眼科クリニックの一症例

宮崎市 生目眼科クリニック はら だ かず みち
原 田 一 道

緒言：老朽化した一眼科クリニックの新築移転と利便性及び喜寿年齢者の管理運営をレトロスペクティブに観察することを目的とした。

症例：築20年の眼科クリニック。

既往歴：平成17年洪水にて床上浸水。

主訴：騒音、振動、悪臭、漏水及びスモール。

現病歴：約三年前より、外来騒音のため来院者の声が聞き取れない、会話が不能などあった、特に難聴者でその傾向が認められた。また外部の走行車によっては、建築物の脆弱性もあって



図1

著明な振動があり危機を感じることがあった。また床上浸水の既往があり不可逆性の悪臭を合併するようになった。さらに先進医療を目的として光学機械の導入を図ったため容積の狭小を感じるようになった。そのため移転を画した(図1)。



図2

方法：プロジェクトチームを結成した。年齢は24歳～77歳、 44.4 ± 15.9 歳であった。既成概念、因習姑息を除外した。従来の方式を変更し院内薬局を設置した。

結果：気象、資金障害がなく約6月でリカバーした(図2)。

考案：今回のプロジェクトは、自験例に基づき年齢層を幅広くし、立案、企画、行政折衝、渉外を行ったため比較的短期に目的を達成することができたが中にはエビデンスのない積算も認められた。また院内調剤方式に改めたため、専用の増員が必要であり、更なる拡充のためには専従者の必要性を感じた。

文献：原田一道：台風14号被災顛末記。日州医事 2：19, 2006。

利益相反：該当なし

エコー・リレー

(515回)

(南から北へ北から南へ)

#サーフィン#移住#宮崎

宮崎市 宮崎大学医学部
附属病院 いし だ しゅうたろう
石 田 翔太郎

私は京都府出身で、大学は大阪府の近畿大学に通っていた。関西から出たことはなく生粋の関西人である。もともと大人数で騒ぐのが好きでいつも深夜難波で騒いでいた。

きっかけは大学3年生の時でした。一緒によく難波をぶらぶらしていた友人の「この生活って将来、子供に話せないし、生産性なくね？」という一言で何か始めようってことになった。親がサーファー、そいつも実はサーファー、私もボードは持っていた、もうサーフィンしかなかった。そこから生活は大きく変わり、終電に乗ることがなくなった、お酒を飲まなくなった、大学に行くようになった、いいことしかなかった。

気付けば5年生になっており、将来を考える時期に入っていたが、今後もサーフィンありきの生活しか考えられなかった。様々な関西の病院見学に行ったがどこでもその生活はできそうになかった。退屈な想像しかできなかった。

気付けば宮崎にきて2年が経っている。その生活ができています。2年で帰るつもりであったが、この生活をやめる選択肢はなかった。

サーフィンとは考え方、ライフスタイルに影響を与えるスポーツであり、生活拠点を変えてしまうこともある。そんな移住先としてよく選ばれるのが宮崎である。宮崎にきてよかったと日々感じている(2018年6月現在)。

[次回は、串間市の久富木 冠先生をお願いします]

ホノルルマラソン

宮崎市 くわばら医院 くわ ばら まさ ちか
桑 原 正 知

ワイキキビーチの西にあるアラモアナセンターの海側の大通りがスタート地点。2016年12月11日早朝。3万人が通りを埋め尽くす。前夜は興奮して寝付かれず1時起床。バスでセンター

駐車場へ。日本人の大集団で準備運動、激しいビートのダンスもあり4時過ぎの移動時には睡眠不足とダンスで疲労感あり。現地は雨季、雨はないが星は見えず。午前5時、派手な花火が真っ暗な空へ打ちあがり大歓声で一気にお祭りムードに。スタートしたが周囲の人しか見えず5kmクリスマスのイルミネーションが現れ応援も増えた。10kmなんと57分。自己ワーストだが気分は最高。薄明かりになってダイヤモンドヘッドの上り坂へ。高低差35m。1車線分だけが走路で狭くランナーと身体が当たり追い越しは無理。なんてコースだと思ったら暁の雲間から朝日が真正面に昇ってきて日差しが目に入る。ガイドがサングラス必須と言うはずだ。拝みながら進むと白波の太平洋が眼下に現れ高揚する。18km、日は昇り気温が上がる。給水所には水とゲータレードだけ。日本のように多彩な食べ物はない。24km海岸から山側へ左折、高級住宅地を回りハイウェイを西へ帰る。30km雲は無く直射日光が注ぐ。カメラマンにポーズする体力も惜しい。アクエリアスが欲しい。漸くダイヤモンドヘッドが見えた。最後の難所。青い海とサーファーを見ながら坂を登る。周りのランナーが同志に思える。峠でボランティアの声「ビア」と聞きとれた。生き返る。あと2km。山を駆け下り、両手を突き上げてゴールイン。42.195kmを走るためだけに1週間も休診にしてハワイまで出かけるなんてと思ったが、いやそうではなかった。また来よう。

[次回は、日南市の波種 年彦先生をお願いします]

宮 崎 県 医 師 会 役 員 等 名 簿

任期：平成30年(2018年)6月16日の定例代議員会終結後～2020年6月の定例代議員会終結時まで
(議長・副議長の任期は、平成30年(2018年)5月1日～2020年4月30日)

役 職	氏 名	所属郡市医師会	勤 務 先	電 話 ・ FAX	新任
会 長	河野 雅行	宮 崎	河野整形外科	0985 39-3313 FAX39-3314	
副 会 長	濱田 政雄	宮 崎	はまだレディスクリニック	0985 39-0087 FAX39-9112	
〃	山村 善教	宮 崎	山村内科	0985 72-1001 FAX72-1010	○
常任理事	吉田 建世	延 岡	吉田病院	0982 37-0126 FAX37-0233	
〃	小牧 斎	宮 崎	こまき内科	0985 26-1112 FAX26-0636	
〃	荒木 早苗	宮大医	宮崎大学医学部附属病院	0985 85-9029 FAX84-2549	
〃	池井 義彦	西 諸	池井病院	0984 23-4151 FAX24-0635	
〃	金丸 吉昌	日 向	美郷町国民健康保険西郷病院	0982 66-3141 FAX66-2491	
〃	佐々木幸二	都 城	佐々木医院	0986 62-1103 FAX29-3016	
〃	高村 一志	宮 崎	たかむら小児クリニック	0985 52-8181 FAX52-6055	
〃	石川 智信	宮 崎	いしかわ内科	0985 32-2234 FAX32-1795	
理 事	立元 祐保	宮 崎	綾立元診療所	0985 77-0333 FAX77-3669	
〃	峰松 俊夫	南那珂	愛泉会日南病院	0987 23-3131 FAX23-8130	
〃	川野啓一郎	宮 崎	まつばし川野整形外科	0985 32-0771 FAX26-7790	
〃	佐々木 究	宮 崎	佐々木眼科医院	0985 20-0080 FAX20-0143	
〃	岩村 威志	宮 崎	潤和会記念病院	0985 47-5555 FAX47-8558	
〃	米澤 勤	児 湯	海老原総合病院	0983 23-1111 FAX21-1816	
〃	帖佐 悦男	宮大医	宮崎大学医学部	0985 85-0986 FAX84-2931	
〃	嶋本 富博	宮 崎	県立宮崎病院	0985 24-4181 FAX28-1881	
〃	園田 定彦	西 諸	野尻中央病院	0984 44-1141 FAX44-0629	○
〃	瀬ノ口洋史	都 城	瀬ノ口醫院	0986 25-5155 FAX25-5117	○
〃	赤須郁太郎	延 岡	共立病院	0982 33-3268 FAX21-5700	○
〃	大塚康二郎	西 都	大塚病院	0983 43-0016 FAX43-3022	○
監 事	中村 周治	宮 崎	平和台病院	0985 24-2605 FAX22-0787	
〃	小牧 文雄	都 城	一心外科医院	0986 52-7788 FAX52-7923	
〃	宮田 純一	延 岡	みやた内科医院	0982 33-5883 FAX22-1901	○
議 長	鮫島 浩	宮大医	宮崎大学医学部	0985 85-9005 FAX85-9801	○
副 議 長	松本 英裕	西 都	三財病院	0983 44-5221 FAX44-3473	○

表彰・祝賀

瑞宝双光章

たて やま ひろ みち
立 山 浩 道 先生(宮 崎)

平成30年春の叙勲において瑞宝双光章を受章されました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



立山 先生

医療功労により県知事表彰

なか	むら	しゅう	じ	
中	村	周	治	先生(宮 崎)
さか	もと	かず	ひさ	
坂	元	一	久	先生(都 城)
の	だ		ひろし	
野	田		寛	先生(延 岡)
くろ	ぎ	むね	とし	
黒	木	宗	俊	先生(児 湯)
とも	なり	ひさ	お	
友	成	久	雄	先生(西 都)

平成30年 6 月16日、医療功労により県知事表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



中村 先生



坂元 先生



野田 先生



黒木 先生



友成 先生

宮崎県感染症発生動向 ～ 5 月～

平成30年 4 月30日～平成30年 6 月 3 日 (第18週～第22週)

■全数報告の感染症

1 類：報告なし。
2 類：○結核 8 例 (男性 5 例・女性 3 例)：保健所別報告数は【図 1】、病型別報告数は【表 1】、年齢別報告数は【表 2】のとおりである。

3 類：○腸管出血性大腸菌感染症 2 例：宮崎市、都城保健所管内から報告があった。
・10歳代で、無症状病原体保有者であり、原因菌の O 血清型は O91 (VT1 産生) である。
・80歳代で、主な症状として腹痛、水様性下痢、血便、発熱がみられ、原因菌の O 血清型は O121 (VT2 産生) である。

4 類：○A 型肝炎 1 例：日南保健所管内から報告があった。60 歳代で、主な症状として全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常がみられた。A 型肝炎のワクチン接種歴、海外渡航歴はない。

○重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 5 例：宮崎市 (3 例)、延岡 (2 例) 保健所管内から報告があった。80 歳代 (2 例)、60 歳代、70 歳代、90 歳代で、ダニの刺し口は有 (2 例) 無 (3 例) である。主な症状として発熱、下痢、食欲不振、血小板減少、白血球減少がみられた。

○日本紅斑熱 2 例：宮崎市、日南保健所管内から報告があった。60 歳代、80 歳代で、主な症状として発熱、刺し口、発疹、肝機能異常、腎機能異常がみられた。

○レジオネラ症 2 例：宮崎市、小林保健所管内から報告があった。いずれも 60 歳代で、病型は肺炎型である。主な症状として発熱、肺炎がみられた。

5 類：○アメーバ赤痢 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。50 歳代男性で、病型は腸管アメーバ症である。主な症状として大腸粘膜異常所見がみられた。

○カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例：都城保健所管内から報告があった。60 歳代で、主な症状として尿路感染症、肺炎疑いである。原因菌は *Escherichia coli* である。

○水痘 (入院例) 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。40 歳代で、主な症状として発熱、発疹がみられた。水痘のワクチン接種歴はない。

○破傷風 2 例：延岡、高鍋保健所管内から報告があった。

・60 歳代で、主な症状として開口障害、嚥下障害、痙攣がみられた。破傷風のワクチン接種歴は不明である。

・80 歳代で、主な症状として開口障害がみられた。破傷風のワクチン接種歴はない。

○百日咳 72 例 (男性 27 例・女性 45 例)：保健所別報告数は【図 2】、年齢別報告数は【表 3】のとおりである。

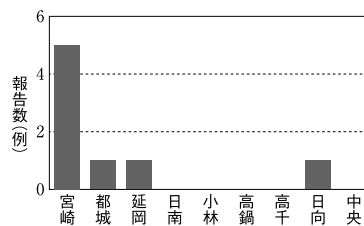


図 1 結核 保健所別報告数

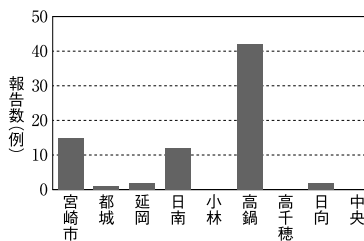


図 2 百日咳 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数 (例)

肺結核	4
無症状病原体保有者	4

表 2 結核 年齢別報告数 (例)

年齢	報告数
20歳代	1
40歳代	1
50歳代	2
70歳代	1
80歳代	1
90歳代	2

表 3 百日咳 年齢別報告数 (例)

年齢	報告数
0～4 歳	6
5～9 歳	15
10歳代	37
20歳代	4
30歳代	3
40歳代	2
50歳代	2
60歳代	2
70歳代	1

■病原体検出情報 (微生物部)

	検出病原体	件
ウイルス	RSウイルス	3
	インフルエンザウイルス AH1pdm09	2
	インフルエンザウイルス AH3	7
	インフルエンザウイルス B (山形系統)	11
	パラインフルエンザウイルス 3 型	3
	エコーウイルス 9 型	2
	エンテロウイルス 71 型	3
	単純ヘルペスウイルス 1 型	1
	ヒトコロナウイルス OC43	1
	ヒトコロナウイルス 229E	1
	ヒトヘルペスウイルス 6	3
	風しんウイルス	1
	ライノウイルス	3
細菌	<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	12
	EHEC (O121:H19 VT2)	1
	EPEC (OUT:H21)	1
	ETEC (O136:H16)	1
	EAggEC (O111:H21)	1
	<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	2
	<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	1
	<i>Salmonella</i> 属菌 血清型不明 (O3,10:r:z6,1)	1

告数は【表3】のとおりである。主な症状として持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタックート、ウーブ等がみられた。百日咳のワクチン接種歴は有(53例)、無(5例)、不明(14例)である。

- 風しん1例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代で、検査診断例であった。主な症状として発疹、発熱、頭痛がみられた。ワクチン接種歴は不明である。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は4,736人(定点あたり142.8)で、前月比137%、例年比122%と増加した。

前月に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症である。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病である。

咽頭結膜熱の報告数は222人(6.3)で前月の約1.9倍、例年の約1.4倍である。中央(17.0)、日南(9.7)、高鍋(8.3)保健所からの報告が多く、6か月～3歳が全体の約8割を占めている。

手足口病の報告数は1,296人(36.5)で前月の約2.4倍、例年の約4.3倍である。延岡(86.5)、日向(41.5)保健所からの報告が多く、1～3歳が全体の約7割を占めている。

■月報告対象疾患の発生動向 (2018年5月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は18人(1.4)で、前月比47%と減少した。また、昨年5月(2.5)の55%である。

《疾患別》

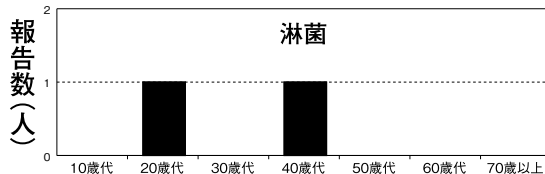
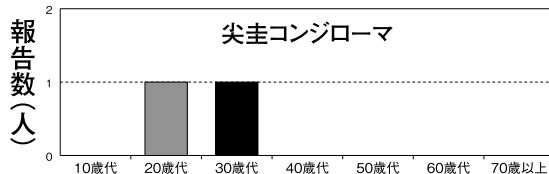
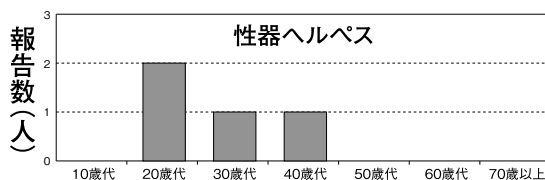
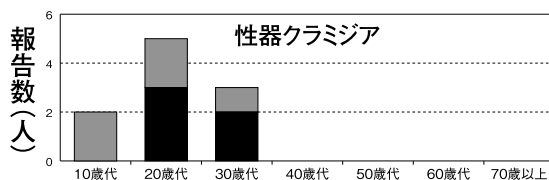
- 性器クラミジア感染症：報告数10人(0.77)で、前月の約0.4倍、昨年5月の0.5倍である。20歳代が全体の半数を占めている。(男性5人・女性5人)

- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の0.4倍、昨年5月の約1.3倍である。

(女性4人)

- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の2.0倍、昨年5月と同率である。(男性1人・女性1人)

- 淋菌感染症：報告数2人(0.15)で、前月の約0.7倍、昨年5月の約0.3倍である。(男性2人)



■ 男 ■ 女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は17人(2.4)で、前月比94%と減少した。また、昨年5月(3.0)の81%である。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数17人(2.4)で、前月の約1.2倍、昨年5月の約0.9倍である。70歳以上が全体の約半数を占めている。

- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

前月との比較

	2018年5月		2018年4月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	158	2.7	366	6.2	
RSウイルス感染症	58	1.6	115	3.2	★
咽頭結膜熱	222	6.3	117	3.3	★
※溶レン菌咽頭炎	449	12.6	336	9.3	
感染性胃腸炎	1,999	56.2	1,655	46.0	
水痘	90	2.5	83	2.3	
手足口病	1,296	36.5	551	15.3	★
伝染性紅斑	4	0.1	5	0.1	
突発性発疹	156	4.4	149	4.1	
ヘルパンギーナ	42	1.2	14	0.4	
流行性耳下腺炎	180	5.0	132	3.7	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	78	13.0	48	8.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	1	0.1	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	0.6	13	1.9	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

国公立病院だより

JCHO宮崎江南病院



しら お かずさだ
白尾 一定 院長

JCHO宮崎江南病院の紹介をさせていただきます。

当院は、昭和30年に結核病床200床、内科と外科で開院しています。その後、昭和59年に一般病床269床に変更になり、健康管理センター、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援センターを開設し、平成18年に地域医療支援病院として承認されました。平成26年には社会保険病院と厚生年金病院、船員保険病院の57病院が統合され、独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)が直接運営する病院グループとなり、当院もJCHO宮崎江南病院となりました。当院の初代院長は、三原七郎先生、二代目出石寛先生、三代目谷口裕先生、四代目石川正先生です。私はJCHO移行と同時に院長になりました。

私は須木村(現小林市)出身で、日向学院中学・高校から、昭和53年佐賀医科大学に入学し、卒業と同時に鹿児島大学第一外科(現消化器、乳腺・甲状腺外科)に入局し、鹿児島大学病院、県立大島病院、小林市民病院、川内済生会病院、南風病院、鹿児島厚生連病院等の病院で学び、平成11年に当院に赴任しました。平成15年から石川院長の下、副院長を11年間務めました。宮崎江南病院に赴任して20年目を迎えています。また、平成24年より宮崎市郡医師会川名隆司会長の下、宮崎市郡医師会理事として、宮崎看護専門学校、宮崎市夜間急患センター等を担当しています。

宮崎江南病院の開院当時の手術台帳には、昭

和32年に肺結核手術295例も施行した記録があります。20～30代の患者に肺切除や胸郭形成術が施行されており、当時の肺切除術の保険点数が800点、胃切除が600点と記録されています。肺結核患者の減少により、昭和59年に現在の一般病床269床になりました。平成25年に脳外科が休止になり、回復期リハビリテーション病棟を50床新設しました。平成16年には、亜急性期病床を12床、平成24年には20床に増やし、平成26年に地域包括ケア病床に移行しました。平成28年には地域包括ケア病床44床1病棟として現在の体制(急性期182床、回復期リハ43床、地域包括ケア44床)となっています。

平成18年に地域医療支援病院として承認され、平成30年現在、登録医療施設144施設、登録医151名の状況で、登録医療機関からの紹介を中心に入院を中心とした診療を行っています。患者紹介率81.8%、逆紹介率66.9%の状況です。大型医療機器については、平成29年に80列CT、3TのMRIを導入しました。また、平成28年よりPACS画像を登録医療機関と共有できるデータベース共有システムを導入しています。また、地域医療連携室を強化し、9名体制(看護師3名;1名は皮膚・排泄ケア認定看護師)で患者様の問い合わせ、検査予約等を行っています。まずは、地域医療連携室直通電話(0120-855-082)までご連絡下さい。

平成26年より在宅医療後方支援病院の認可を受けました。これは、在宅医療を行う患者様の救急時の24時間受入体制を整えて、在宅医療を推進する病院です。登録医療機関が19施設、登録患者数116名について24時間体制の入院受入体制を整えています。平成29年度は23名を受け入れました。

当院の特徴として、形成外科センターがあります。県内唯一の形成外科認定施設で、形成外科医が5名体制にて行っており、手の外傷・奇

形、顔面の外傷、腫瘍等の治療に県内各地から来院されています。平成29年度は手の外科手術が228件でした。また、透析センターにはベッドを60台有しており、平成29年度のシャント件数は387件でした。リハビリセンターも充実しています。その他にも、宮崎市郡医師会での内科輪番制、吐下血輪番制に参加しています。

JCHO移行と同時に、病院理念を「私たちは、医療人としての奉仕の精神と和の心を大切に、地域に信頼される病院として医療・介護・福祉に貢献します」、キャッチフレーズを「安心な医療で地域の笑顔を支える宮崎江南病院」としました。職員全員が医療人としての誇りを持ち、チームワークを大切にして欲しいという願いからです。また、急性期治療だけでなく、回復期リハ・地域包括ケア病床の機能もあり、介護老人保健施設、訪問看護ステーションを併設していることから、地域包括ケアシステムへの積極的参加を病院運営方針に掲げました。当院のホームページにも掲示していますが、「わたしの健康栄養手帳」を高齢者の皆様に配布し、入院から在宅まで、医療から介護の連携に利用していただけるようにしました。この手帳は、食事療法、口腔ケア、摂食・嚥下、サルコペニア予防等の内容が網羅されています。当院では、栄養サポートチーム(NST)活動にも力を入れ

ており、年1回の宮崎県NST研究会の開催、40時間のNST専門療法士研修には県内外から毎年30名前後が参加していただいています。院内のNST活動から地域包括ケアシステムへの活動へ繋げているところです。

当院は宮崎東諸県医療圏の急性期医療及び回復期医療を担い、当該地域の中核病院としての役割を果たしてきました。また、附属施設として、訪問看護ステーション、健康管理センター、介護老人保健施設、居宅介護支援センターを併設しており、医療・介護・福祉の連携を図り、地域住民の健康の保持増進、在宅医療の充実、社会復帰の推進等に努め、地域医療の充実発展に貢献しています。今後、人口減少や高齢化が進む中で、当院は江南地区を中心とする地域多機能型病院としての役割を果たしてまいります。また、地域医療支援病院としての役割と地域包括ケアシステムを支える在宅療養後方支援病院として、現在の病床機能を維持、継続して医療・介護・福祉を提供していきたいと考えております。

尚、本内容の一部は、本年3月19日の第2回宮崎東諸県郡地域医療構想会議にて報告しております。



宮崎大学医学部だより

附属病院 —医療情報部—



あらき けんじ
荒木 賢二 教授

1. スタッフ

教授は平成13年10月より荒木賢二が担当しています。准教授の山崎友義が平成30年3月に任期満了で退職し、後任に小川泰右助教が着任し、教育、研究に携わっています。他に、荒木早苗助教が「はにわネット」と授業を担当し、多数の非常勤研究員がさまざまな研究に携わっています。また、宮崎大学公式YouTube「Myaoh. TV」を運営するメディア企画室の職員も医療情報部のスタッフです。ぜひ、myaohを検索して宮崎大学の広報ビデオをご覧ください。

2. 教育に関する特記すべき取組み

医学部医学科、看護学科や大学院生に情報関連の講義を行っていますが、特記すべきものとして、文部科学省の大型教育補助金(いわゆるGP)に採択(2017年から5年間)され、「教育用電子カルテ活用による人材養成事業」に取り組んでいます。本補助事業で病院の経営分析担当者の教育を実践し、さらに大学病院の経営改善の実践指導も行う予定です。

3. 研究に関する特記すべき取組み

医療情報部では、電子カルテの運用により日々発生する膨大な医療情報を様々な用途に活用する基盤構築に取り組んでいます。代表的なものとして、ベストプラクティス分析が挙げられます。過去の膨大な医療情報から疾患ごとの典型的な診療パターンとそのバリエーションを抽出し、バリエーションを診療オプションと名付け、診療オプションごとにベストプラクティ

スを統計学的に分析、探索します。例えば、胃の内視鏡的粘膜下層はく離術(ESD)における術後抗生剤使用の有無を診療オプションとして、使用の有無が治療成績に及ぼす影響を評価し、ベストな治療法を統計学的に探索します。このような分析を大規模に行い、医学的根拠の辞書の作成を目指しています。

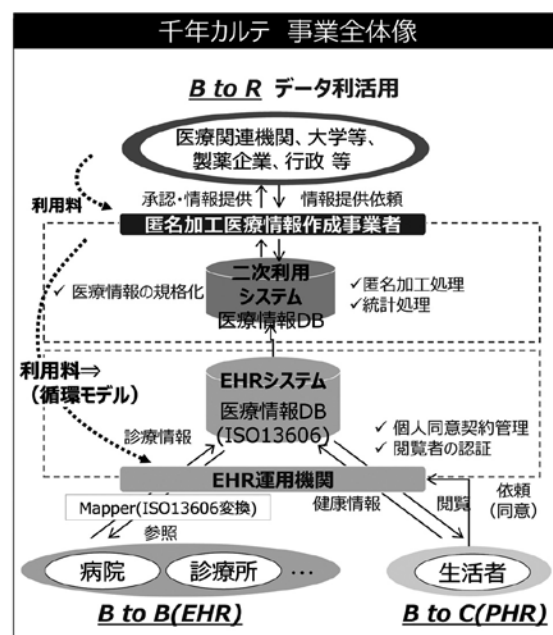
4. 千年カルテプロジェクト

千年カルテもいよいよAMED補助事業として最終年度となり、今年度中に国の認定を受け、来年度から本格的な医療情報利活用事業を開始します。開始当初から全国130病院の医療情報を臨床研究等に活用できることになり、さらに病院数は増えていきます。

千年カルテに参加するメリットとして、以下のものが挙げられます。

- ①医療施設や患者との情報共有システム(EHR, PHR)の費用が無料となります。
- ②原価計算(収支分析)を含めた病院の経営分析サービスを無料で受けることができます。
- ③全国130病院の医療情報を用いた臨床研究を行うことができます。

今後とも、千年カルテにご協力をお願いいたします。



専門分科医会だより

(皮膚科医会)



なりた ひろみ 会長
成田 博実 会長

今年度も例年同様、年3回の例会、勉強会(宮崎県皮膚科懇話会、略して宮懇会)と年2回の会誌「宮崎県皮膚科だより」の発行とポスター制作そして皮膚の日講演会を予定している。

昨年度の事業実績について以下に述べる。平成29年6月の宮懇会では古賀総合病院腎臓内科部長久永修一先生に「急性腎障害(AKI)と慢性腎臓病(CKD)、特に薬剤との関与について」のテーマでご講演いただいた。9月には、「ステロイド骨粗鬆症の治療戦略」の題目で宮崎大学整形外科の船元太郎先生にお願いした。今年2月の3回目の例会では、宮大皮膚科から「皮膚疾患における蛍光抗体法(根本理恵子先生)」と「皮膚悪性腫瘍の治療について、メラノーマを中心に(持田耕介先生)」をお話いただいた。その後場所を移動して、遅めの新年会を開催した。宮懇会会場はいつも同じ県立宮崎病院3階講堂で、無料でお借りしている。

皮膚科だよりは今年1月に100号の記念号を

発刊できた(図1)。昭和50年に田崎高伸先生の手書きの創刊号からスタートし、40有余年で100号まで継続発刊できたことは感無量で、会員各位の協力の賜である。会員からの投稿も多数あり、60ページと厚

みのある節目の機関誌になった。これからも200号を目指して一編集委員として精進したい。

昨年度の28枚目ポスターのテーマは「日用品、美容商品等と皮膚病」であった(図2)。日用品、医薬品、健康・美容商品など身近に

あるものが原因でおこる皮膚病を提示した。提示例は全て会員が日常診療の中で経験したものであり、プライバシーに留意しながらわかりやすく伝えられるよう心掛けた。日州医事読者で希望の方には着払いで差し上げますので、ご連絡下さい。

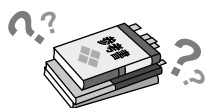
皮膚の日講演会は11月12日(いいひふ)の1週間前の11月5日(日)に、いつもの宮日会館で開催した。講演者は例年どおり出盛允啓先生で、テーマは「いろいろな抗酸菌によるいろいろな病気ー結核、非結核性抗酸菌症からハンセン病(癩病)までー」と重たい演題であったが、169名の参加者があった。他科のドクターが6名ほど参加されておられた。講演会のあとロビーで参加希望者と、過去に制作したポスター10枚を掲示して質疑応答を行い、さらに充実した講演会となった。なお、このポスター制作と講演会の事業で昨年度も県医師会から補助金をいただいた。この場を借りてお礼申し上げる。今年度も継続事業として計画しているので、県医師会のご厚意に期待している。皮膚科医会は小回りがきく会員数51名の小所帯なので、一致団結して皮膚科の啓発活動に奮闘する所存である。



図2



図1



あなたできますか？

—平成29年度 医師国家試験問題より—

(解答は38ページ)

1. 腸管出血性大腸菌感染症と診断された場合に正しいのはどれか。
 - a 入院勧告の対象となる。
 - b 届出は一週間以内に行う。
 - c 届出先は市町村長である。
 - d 医療費は全額公費負担となる。
 - e 児童の場合は出席停止となる。
2. Mallory-Weiss 症候群について正しいのはどれか。
 - a 自然治癒する。
 - b 裂創は横走する。
 - c 病変は壁全層に及ぶ。
 - d 胃大弯側に好発する。
 - e 十二指腸にも病変が存在する。
3. 大腿ヘルニアについて正しいのはどれか。2つ選べ。
 - a 男性に多い。
 - b 両側性が多い。
 - c 嵌頓しやすい。
 - d 高齢者に多い。
 - e 大腿動脈の外側に触れる。
4. 造影CTを施行するにあたり事前に確認すべきこととして最も重要なのはどれか。
 - a 喫煙歴
 - b 飲酒歴
 - c 肝機能
 - d 腎機能
 - e 認知機能
5. 感度80%, 特異度60%の検査の陽性尤度比はどれか。
 - a 0.3
 - b 0.5
 - c 1.3
 - d 2.0
 - e 4.8
6. 深部静脈血栓症の発症リスクとなるのはどれか。2つ選べ。
 - a アンチトロンビン欠乏症
 - b 第XIII因子欠損症
 - c フィブリノゲン欠乏症
 - d プラスミノゲン活性化抑制因子1欠損症
 - e プロテインS欠乏症
7. 我が国において主要な曝露源が魚介類摂取であるのはどれか。2つ選べ。
 - a 鉛
 - b メチル水銀
 - c カドミウム
 - d ダイオキシン類
 - e ビスフェノールA
8. 左→右シャントをきたす先天性心疾患はどれか。
 - a Ebstein奇形
 - b Fallot四徴症
 - c 動脈管開存症
 - d 左心低形成症候群
 - e 完全大血管転位症
9. 脂質の代謝について正しいのはどれか。
 - a トリグリセリドは肝臓で合成される。
 - b 食事の脂質の大部分はコレステロールである。
 - c リポ蛋白リパーゼはコレステロールを分解する。
 - d トリグリセリド1gのエネルギー量は4kcalである。
 - e 小腸で消化吸収された脂質の多くは門脈内に流入する。
10. 2015年の日本人の食事摂取基準に定められている成人の1日ナトリウムの目標量(食塩相当量)はどれか。
 - a 男性6g未満 女性6g未満
 - b 男性7g未満 女性7g未満
 - c 男性7g未満 女性8g未満
 - d 男性8g未満 女性7g未満
 - e 男性10g未満 女性10g未満

メディアの目



◎通信社って？

時事通信社 宮崎支局長

たか
高しろ
城やすし
靖

昨年7月に宮崎勤務となり、あっという間に1年が経過しました。仕事柄、いろいろな方と話をすることがありますが、「通信社っていったいどんなことをしているのですか？」という質問をよく受けます。そこで、このコラムをお借りして小職が勤務する時事通信社を例に通信社の仕事について書いてみたいと思います。

現在、日本には共同通信社と時事通信社の2つの通信社があります。もともと両社は、戦前戦中に国家代表通信社として活動した社団法人同盟通信社が前身です。同盟は、新聞・放送向けのマスメディアサービス、官公庁、商社、個人などへのコマーシャルサービス、国家機関としての対外広報活動を一手に引きうける通信社でした。太平洋戦争が終わり、連合国軍総司令部(GHQ)による占領行政が始まるとGHQからの圧力が強まり、1945年10月31日に同盟は自主解散。11月1日に共同通信社と時事通信社が誕生することとなりました。

では、通信社はどのような仕事をしているのか？と言うと、新聞社や放送局、インターネット上のニュースサイトなどにニュースを供給する「ニュースの卸問屋」といったところでしょう

か。通信社のニュースで一番分かりやすいのは新聞の国際面に掲載されている記事です。記事の一番最後に「ニューヨーク・時事」「AFP・時事」などとクレジットと呼ばれる出典が記載されています。これが通信社のニュースです。国内の記事は、慣例でこのクレジットがないため気付かずに読まれています。地方の新聞社では、その新聞社がカバーできない県外のニュース、海外ニュース、オリンピック、プロ野球、大相撲などのプロスポーツの記事や選手のコメントなどが多く掲載されています。

マスメディア向けのニュースサービス以外にも行政、医療、福祉、税務、教育などに特化したプロフェッショナル向けのニュース配信もしており、「世界の動きを日本へ、日本の声を世界へ」と日夜ニュースを発信しています。

マスコミは「面倒くさい」「難しい」と考える方が多いかと思いますが、そんなことはありません。皆さんの情報発信ツールの一つとして、さまざまな情報を広報してください。その広報をニュースにして、国内、世界へ発信していきます。

－ 各種委員会－

勤 務 医 委 員 会

と き 平成30年4月19日(木)

ところ 県 医 師 会 館

岩村理事の司会により開会した。

1 報告

1) 勤務医の医師会活動への参加を活発にするための方策について(経過報告)

前回委員会で課題とされた臨床研修医(C会員)の会費免除期間終了後も会員継続をしてもらう方策について、本会役員が大学に出向き2年次の研修医の先生方に会員継続のお願いと会員異動の手続き等について説明を行ったこと、3月に初期研修を終えるタイミングで会員継続のお願い文書を送ったことが報告された。また、勤務先変更などが集中する春の異動シーズンに合わせ、勤務医及び研修医向けに、会員異動の手続き、医師会員のメリット、医師協同組合事業の案内などを日州医事3月号に掲載した。来年3月に向けて、今回出された課題も踏まえ多くのC会員に継続入会していただけるよう今後も働きかけていくこととなった。

2) 医師の勤務環境改善の取組みについて(経過報告)

①県医師会の取組みについて

医療勤務環境改善支援センター事業について報告があった。

「医療勤務環境マネジメントシステムの普及・促進」については、昨年8月の本センター開設以来初めて会員病院でマネジメントシステムが導入され、現在、福岡県の医業経営アドバイザーを「メンター」として招へいし、全職員から提出された



勤務実態調査表の分析結果をもとに、院内に設置した委員会で勤務環境改善に向けた検討をする支援を行っている。

「労務管理相談窓口」については、電話相談が寄せられた場合、労務管理アドバイザーを即日派遣し、個別支援を実施している。

さらに、「医師の働き方改革」を受け、各医療機関における医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組みのため、3月に県医師会から全医療機関へ「労務管理チェックリスト」「労務管理に関する分析・改善ツール」を送付し、不明な点についてはセンターへ問合せのうえ、労務管理アドバイザーを活用してもらうよう連絡していることも合わせて報告された。

②日本医師会の取組みについて

日医の医師の働き方検討委員会の答申内容について説明があった。

3 協議

1) 会長諮問「勤務医の医師会活動への参加を活発にするための方策」の答申(案)について

会長からの諮問事項についての答申(案)について協議を行った。

今回の協議をもとに、委員長が最終案を

作成し、会長へ答申することが承認された。

なお、5月30日(水)に木佐貫委員長から河野会長へ答申を行った。

答申では、各都市医師会間の会員異動手続きの簡素化や女性医師活躍の支援などの「勤務医の負担軽減につながる取組み」、医師会活動への勤務医の登用や勤務医会員向けの積極的な情報発信などの「医師会活動を知ってもらうための取組み」、各種研修の充実や会費引下げを契機とした勤務医の

入会促進などの「医師会入会のメリットを感じてもらうための取組み」、「社会的課題解決にむけての取組み」について提言した。

出席者－木佐貫委員長、國武・松尾・谷口・島名委員、
(県医)富田副会長、荒木・金丸常任理事、
岩村・嶋本理事、
久永・松本・牧野課長、野尻課長補佐、
田崎・本崎主事

6月のベストセラー（宮崎県）

集計：2018年6月1日～6月25日

1	かがみの孤城	辻 村 深 月	ポ プ ラ 社
2	大野さんと僕	矢 部 太 郎	新 潮 社
3	異郷のぞみし	佐 伯 泰 英	双 葉 社
4	未来	湊 か な え	双 葉 社
5	極上の孤独	下 重 暁 子	幻 冬 舎
6	頭にきてもアホとは戦うな！	田 村 耕 太 郎	朝日新聞出版
7	宵物語	西 尾 維 新	講 談 社
8	人魚の眠る家	東 野 圭 吾	幻 冬 舎
9	漫画版 君たちはどう生きるか	吉 野 源 三 郎	マガジンハウス
10	未来の年表②	河 合 雅 司	講 談 社

平成30年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

と き 平成30年5月16日(水)

ところ 日本医師会館3階小講堂



次第

1. 開 会

2. 会長挨拶 日本医師会長 横倉 義武

最初の議題である「医師の働き方改革」については、地域医療の継続性と勤務医の健康への配慮をいかに両立するかということが医療面の要件になっている。

もう一つの議題である「新たな専門医の仕組み」について、専門医の質の向上と同時に国民への分かりやすい専門医のあり方が非常に大きなテーマである。専門医機構の運営としても公正性・公平性・透明性が求められるので、日本医師会としてその点もしっかりと申し上げているところである。また、本日の議論の内容について勤務医部会の会員の先生方まで、より一層の情報の共有化をお願いしたい。

3. 全国医師会勤務医部会連絡協議会について

1) 平成29年度報告

北海道医師会常任理事 藤井 美穂

10月21日に「地域社会をつなぐ明日の医療を考えると－次世代を担う勤務医の未来創成のために－」をメインテーマに開催し、400名を超える先生方が参加されたこ

とが報告された。

2) 平成30年度担当医師会挨拶

長崎県医師会常任理事 木下 郁夫

平成30年11月3日(文化の日)にホテルニュー長崎(長崎市)において、長崎県医師会の担当で開催する。メインテーマ「明日の勤務の働き方を考える～西洋医学発祥の地長崎からの提言～」として開催の準備を進めていると報告された。

4. 協 議

1) 医師の働き方改革

①国の働き方改革に関する動向

日本医師会常任理事 市川 朝洋

長時間労働については、改革後には法律となり罰則が設けられ、法律による上限が設けられる。具体的な上限時間等については省令で定めることとし、平成30年度中に最終的な結論を得る予定である。

時間外労働の主な理由としては、緊急対応、手術や外来対応等の延長となっている。記録・報告作成や書類の整理は医師ク拉克を活用することで1時間程度の労働時間の短縮が認められたという検証データもある。また、自己研鑽については、現時点では各医療機関でのガイドラインの設定などが必要と考えられることなどが報告された。

②医師の働き方検討委員会答申

日本医師会常任理事 松本 吉郎

「医師の勤務環境改善のための具体的方策－地域医療体制を踏まえた勤務医の健康確保策を中心に－」について諮問を受け、

現在検討を重ねている。

仮に機械的に時間外労働の上限規制を導入した場合、地域医療に及ぼす影響は大きい。しかし、既に一般業種における時間外労働時間の上限規制についての方向性が定まっている中で、医師についても健康を守るために長時間労働の是正をすべきなの言うまでもない。その他、様々な調査や提言がなされているが、医師の働き方について合意がなされるまでには至っていないとのことであった。中間答申については、医師の特別条項の設定や医師の特殊性を踏まえた自己研鑽や宿日直の在り方について医師のオートノミーを残しつつ、地域医療の提供体制を崩壊させないように実態に即した設定をする必要がある等の提言がされている旨の説明があった。

2) 新たな専門医の仕組み

日本医師会副会長 松原 謙二

新専門医制度は、今回登録システムに変更し、自分が行きたいところを選んで、登録することを3次まで行うことによって、それぞれの段階で検討することができ、大都市に集中していることがあれば、機構のほうで調整を行うこととして、スタートした。誰がどこで誰に指導を受けているかを明確にしようと、「カリキュラム制」から「プ

ログラム制」に変更した。各病院の定員の合計は、全国でも8,000名しかいないのに定数だけであれば、19,000席あった。そのため、5つの都府県には、制限をかけ、オーバーしたところは、2次までの間に修正もしくは、募集を辞めていただくことを各学会にお願いした。各県の診療科別の専攻医プログラムの採用状況について集計をしたところ、各都道府県で、隣の県と親和性が高い県に籍を移していることがわかった。

これにより新臨床医制度のところでかなりのズレが起っており、今のマッチング制度でも十分ではないということがわかった。

もう一つの問題は、地域枠の先生方が、県の指示の下に所属場所が指定され、専門医を取れない可能性が出てくる。そのため、専門医が取れる地域に移る医師が増えてくる。これらの点を専門医のあり方に関する検討会で、地域の格差をなくすために、地域の格差の解消や本人がダブルボードを希望する場合、カリキュラム制で勉強をして試験を受ければ、他のボードが取れる仕組みに変更したことなどの報告があった。

5. 閉 会

出席者－金丸常任理事、岩村理事、田崎主事

お知らせ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成30年5月1日より10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組めます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議

と き 平成30年6月2日(土)

ところ ホテルオークラ福岡

1 九州医師会連合会長挨拶

福岡県医師会長 松田 峻一良

松田九医連会長の挨拶に続き、今期で退任される長崎県の蒔本会長と新たに会長に就任される森崎次期会長から挨拶が行われた。

2 報 告

1) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会(6月2日(土)福岡市)について(福岡)

2) 九州ブロック日医代議員(含む・次期)連絡会議(6月2日(土)福岡市)について(福岡)

3) 平成30年春の叙勲等受賞者の慶祝について(福岡)

4) 故 井上雄元 元千葉県医師会長ご逝去に伴う対応について(福岡)

5) 第16回九州・沖縄災害拠点病院実務者会議・第8回九州・沖縄ブロックDMAT実務者会議合同会議について(福岡)

6) その他

3 協 議

1) 九州ブロックから推薦する次期日本医師会役員等の候補者について(福岡)

①理事 2名

理事は、沖縄県の安里会長と鹿児島県の池田会長を推薦することが了承された。

②裁定委員 1名

裁定委員は、鹿児島県の園田代議員を推薦することが了承された。

③ その他

2) 平成30年度・31年度における日本医師会代議員会の諸委員について(福岡)



①議事運営委員 1名

熊本県の福田会長を推薦することが了承された。

②財務委員 2名

福岡県の瀬戸先生、佐賀県の志田先生を推薦することが了承された。

3) 第143回日医臨時代議員会(6月24日(日))における質問者(ブロック代表及び個人)について(福岡)

代表質問には、鹿児島県の牧角代議員の「医師偏在是正に向けた医療法・医師法改正案について」、個人質問には、福岡県の長柄代議員の「医業の継承問題について」と同県の酒井代議員の「定期予防接種広域化、およびムンプス、ロタワクチンの定期予防接種化について」を九州ブロックからの提出とすることが決定された。

4) 第142回日医定例代議員会・第143回日医臨時代議員会開催に伴う九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議(6月22日(金)・23日(土)・24日(日))の開催について(福岡)

5) 日本医師会次期会長等候補者の推薦について(福岡)

現職の横倉会長を次期会長候補として推

薦することの再確認がなされた。

常任理事候補として九州ブロックから、福岡県の平川氏(現九州ブロック産婦人科医会会長)を推薦することも併せて了承された。

さらに、佐賀県の池田会長を日医代議員副議長候補として推薦することも了承された。

また、横倉会長が編成された副会長候補、常任理事候補のキャビネット全体を推薦することも了承された。

6) 日本医師会次期役員等候補者の推薦届出と都道府県医師会選出日医代議員への文書による協力依頼等について(福岡)

九州医師会連合会から横倉義武会長候補、平川俊夫常任理事候補、代議員会副議長候補に池田秀夫候補、安里哲好理事候補、池田琢哉理事候補、園田勝男裁定委員候補の推薦届を担当県の福岡県から日本医師会

に提出することが了承された。

併せて、都道府県医師会選出代議員へ各候補への支援依頼文書を九州医師会連合会及び九州各県医師会長等の連名で行うことが了承された。

7) 九州地方社会保険医療協議会委員(臨時委員)の推薦について(福岡)

8) 九州医師会連合会第371回常任委員会(7月7日(土)霧島市)の開催について(鹿児島)

9) 九州医師会連合会第373回常任委員会並びに第1回各種協議会(10月6日(土)鹿児島市)の開催について(鹿児島)

10) 改定診療報酬点数表参考資料の送付に関するお願い(長崎)

11) その他

出席者－河野会長、山内事務局長

お知らせ

平成30年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者24名 (女24名)	就職希望者23名 (女23名)	就職希望者6名 (女6名)
連絡先：TEL0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙1415 担当：田村 広美 武村 順子	連絡先：TEL0985-86-2271 宮崎市田野町甲1556-1 担当：福元 進 崎田ゆかり	連絡先：TEL0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当：吉原真由美 中山さおり

九州医師会連合会常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会

と き 平成30年 6 月 2 日(土)

ところ ホテルオークラ福岡

1 九州医師会連合会長挨拶

福岡県医師会長 松田 峻一良

2 報 告

1) 九州ブロック日医代議員(含む・次期)連絡会議(6月2日(土)福岡市)について(福岡)

松田会長より、このあと開催される標記会議内容等について報告があった。

2) その他

6月24日開催の日医臨時代議員会に九州ブロックから提出する代表質問1題、個人質問2題が決定した旨の報告があった。

3 協 議

1) 九州ブロックから推薦する次期日本医師会役員等の候補者について(福岡)

理事は、沖縄県の安里会長と鹿児島県の池田会長、裁定委員は鹿児島県の園田代議員を候補者として推薦することが決定された。

2) 平成30年度・31年度における日本医師会代議員会の諸委員について(福岡)

議事運営委員には、熊本県の福田会長、財務委員には、福岡県の瀬戸先生と佐賀県の志田先生を推薦することが決定された。

3) 第142回日医定例代議員会・第143回日医臨時代議員会開催に伴う九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議(6月22日(金)・23日(土)・24日(日))の開催について(福岡)

6月22日(金)は、18:00から第一ホテル東京で日医役員選挙に向けた九医連推薦候補者の挨拶及び他ブロックへの挨拶回りを行うこと、他ブロックからの挨拶を受けるこ



と。6月23日(土)、24日(日)は両日とも9:00から日医会館九州ブロック控室で連絡会議を行うことが了承された。

4) 日本医師会次期会長等候補者の推薦について(福岡)

現職の横倉会長を会長候補として推薦することと横倉会長が編成された副会長常任理事候補を含めてキャビネット全体を候補者として推薦することが決定された。

5) 日本医師会次期役員等候補者の推薦届出と都道府県医師会選出日医代議員への文書による協力依頼等について(福岡)

推薦届け出と各都道府県代議員への文書による協力依頼等について、慣例により担当の福岡県にて書類作成と準備を行うことが承認された。

6) その他

出席者－河野会長、濱田副会長、山村次期副会長、山内事務局長、竹崎次長、畠中主事

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

日医インターネットニュースから

■自然増減数、過去最大幅の39万4000人減 — 17年人口動態統計 —

厚生労働省は6月1日、2017年の人口動態統計月報年計(概数)の結果を公表した。出生数が前年から減少し過去最少の94万6060人となった一方、死亡数は前年から増加し戦後最多の134万433人だった。自然増減数は39万4373人減少(前年比6万3603人減)となり、過去最大の減少幅となった。人口1000人当たりの自然増減率も、前年から0.6ポイント低下しマイナス3.2。数と率のいずれも11年連続で減少・低下した。

出生数は、前年の97万6978人から3万918人減少し、合計特殊出生率は1.43(前年比0.01ポイント低下)だった。出生数を母の年齢別(5歳階級)に見ると、45歳以上は前年より増加したが、44歳以下は全ての階級で前年より減少した。厚生労働省は出生数減少の要因について「(出産年齢の)女性人口が大きく減っている」と説明。「今後も出生数はしばらく減少してしまう」と見通した。

死亡数は前年から3万2685人増加。人口1000人当たりの死亡率も前年から0.3ポイント上昇し、10.8となった。死因別では、悪性新生物が最も多く27.8%、次いで心疾患(高血圧性を除く)が15.2%、脳血管疾患が8.2%だった。

(平成30年6月5日)

■健康寿命延伸へ、4つの提言 — 日医・公衆衛生委 —

日本医師会は6月6日、会内の公衆衛生委員会(委員長=角田徹・東京都医師会副会長)がまとめた答申を公表した。健康寿命延伸に向けた提言として「行政や関係団体・組織と協働した住民参加型で楽しい活動等を地域ぐるみで開催し、予防や必要な医療につなげられるよう、その支援と理解を進めること」など4項目を盛り込んでいる。

このほか「正確な情報を判断し実践できる、自己の健康概念と行動力を有する国民の増加を目指し、教育現場・住民活動等へのかかりつけ医としての会員の関与を、より一層進めること」などが提言されている。

羽島裕常任理事は、同日の記者会見で「地域では、医師会側から行政・関係機関に、積極的

に動き出してもらうように働き掛けている。さらに多職種連携推進のために、医師会・かかりつけ医が中心的な役割を果たしていただきたい」と述べた。
(平成30年6月8日)

■病院勤務者に「強くワクチン接種推奨」 — 厚労省 —

厚生労働省の「麻しん・風しんに関する小委員会」(委員長=大石和徳・国立感染症研究所感染症疫学センター長)は6月8日、麻疹と風疹に関する各特定感染症予防指針の改正案を大筋で了承した。改正案では、麻疹や風疹の抗体を持たない者のうち、特に免疫不全者や妊婦、予防接種前で抗体を保有しない0歳児に接する機会の多い、医療機関で働く人に対して「強く予防接種を推奨する」記載を追加した。

「強く推奨」の表現について、健康局結核感染症課は、指針中の「推奨」と「強く推奨」に具体的な差をつけることは想定していないとしながらも、集団発生が起こった際に、職員の中で接種の順位付けを行う場合などで参考になるのではと説明。平原史樹委員(国立病院機構横浜医療センター病院長)も表現上の違いについて「肌感覚としてすごく有効」とした上で、各自治体で重要な意味合いを持つと評価した。

広域感染が発生した際の自治体間の情報共有に関する国の姿勢も明記した。自治体によって情報共有の方針が異なるという現状に対し「国は、自治体間での情報共有や連携体制の方針を示し、技術的援助等の役割を積極的に果たす」ことなどを盛り込んだ。

風疹の指針には、抗体検査で陰性や判定保留の結果が出た人を確実に予防接種に結びつける重要性を記載する。このほか、両指針には▽定期予防接種実施率向上に向けた対策の強化▽輸入症例への対策の強化—などについても明記した。

改正案は今後、感染症部会と予防接種基本方針部会でも確認を行う予定。(平成30年6月12日)

■17年の医事民事訴訟、前年比13件減 — 最高裁 —

2017年に新たに受け付けた医事関係の民事訴訟は857件で、前年より13件減少したことが最高

裁のまとめで分かった。13年以降、800件台で推移している。17年に終局した既済案件は782件(前年比8件減)で、平均審理期間は前年より1カ月延び、24.2カ月だった。数値は速報値。

17年の既済案件を終局区分別に見ると、和解が最も多い54.6%、次いで判決が32.5%、取り下げが3.5%などとなった。和解の割合が数値が残る1999年以降最も高かった一方、判決の割合は最も低かった。原告側の主張を一部でも認めた割合を示す「認容率」は前年比2.9ポイント増の20.5%だった。通常訴訟では84.9%となっている。

既済案件を診療科別に見ると、内科が最も多い181件、外科が112件、整形外科が100件、歯科が88件、産婦人科が54件などとなった。

(平成30年6月15日)

■骨太の方針2018と成長戦略を閣議決定 — 政府 —

政府は6月15日の臨時閣議で、「経済財政運営と改革の基本方針2018(骨太方針2018)」と成長戦略の「未来投資戦略2018」を閣議決定した。経済・財政再生計画の改革工程表を改定し、新たな工程表を2018年末までに示すとした。

骨太の方針2018には、19～21年度の「基盤強化期間」は目安に沿った予算編成を行う方針を示した。ただし「社会保障は高齢化による増加分が年によって異なることなどを考慮し、各年度の歳出については一律ではなく柔軟に対応する」と明記した。

社会保障費の目安は「(経済・財政再生)計画において、20年度に向けてその実質的な増加を高齢化による増加分に相当する伸びにおさめることを目指す方針とされていること、経済・物価動向等を踏まえ、19年度以降、その方針を21年度まで継続する」と記したが、注釈として「これまで3年間(16～18年度)と同様の歳出改革努力を継続する」などと記載した。

未来投資戦略2018では、医療・介護データの活用やオンライン医療の推進、認知症対策、介護ロボット・センサーによる生産性の向上など

を施策として盛り込んだ。(平成30年6月19日)

■外国人医療の「総合対策」を大筋了承 — 政府WG —

政府の健康・医療戦略推進本部「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に関するワーキンググループ」(WG)は6月14日の会合で、「訪日外国人に対する適切な医療等の確保に関する総合対策」を大筋で了承した。対策は、訪日外国人の▽入国前▽入国時▽日本滞在時—に分けた上で、各省庁に求められる取り組みなどを整理した。

総合対策には、外国人観光客向けの適切な診療価格の考え方などを盛り込んだ医療機関向けのマニュアル作成を厚生労働省の取り組みとして明記。2018年度中に作成する考えで、厚労省は今後「訪日外国人旅行者に対する医療提供体制に関する検討会(仮称)」を設置する。適切な診療価格の在り方について厚生労働科学研究から18年秋ごろに中間報告を得た上で、通訳などの付帯サービスの上乗せ価格なども含めた価格設定の考え方をマニュアルに記載する予定だ。医療費の不払い歴のある外国人観光客に対し、入国拒否も含めた厳格な審査を実施する方針も明記した。WGに出席した厚労省医政局の榎本健太郎総務課長は、検討会の設置時期について「できるだけ早く」とした。

●観光庁長官、「決済環境改善に取り組む」

田村明比古WG構成員(観光庁長官)は、クレジットカードが使用できる医療機関の割合が「ほかの業種と比べ突出して低い」と指摘。観光産業振興の観点から「(医療機関での)決済環境の改善に政府全体で取り組んでいく必要がある」と強調した。

日医の松本吉郎常任理事は、観光立国による経済活性化を歓迎した上で、「手間や時間がかかる外国人患者の対応を、医療機関の現場の善意と努力に委ねるのは依存していることにほかならない」と述べ、財政的な支援を重ねて要望した。(平成30年6月19日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID: 会員 ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字(半角)



平成30年5月1日(火)第4回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎産業保健総合支援センターの運営主幹の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、引き続き佐々木(幸)常任理事を推薦することが承認された。

②宮崎県メディカルコントロール協議会委員の推薦について

→救急業務の高度化を推進することを目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き富田副会長と小牧常任理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①平成30年度認定アスレティックトレーナー養成講習会の名義後援申請について
→スポーツに親しむ方の健康管理等を行うスタッフの確保等を目的に開催される講習会で、名義後援を行うことが承認された。

②6/16(土)・17(日)健康と医学の<なるほど!>ミュージアムの名義後援について
→東京大学医学部に設置されている「健康と医学の博物館」の展示コンテンツを

活用し、広く巡回展の形で一般市民に発信していくプロジェクトで、名義後援を行うことが承認された。

3. 平成30年度「宮崎県医療功労者知事表彰」候補者の推薦について

医療及び医療の推進に精励し、格段の功績があった方に対して贈られる表彰で、郡市医師会に照会した上で、5名を推薦することが承認された。

4. 平成30年度学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰被表彰者の推薦について

学校保健及び学校安全の普及とその充実に関与した功績のあった個人に贈られる表彰で、郡市医師会に照会した上で、優先順位を付けて推薦することが承認された。

5. 5/22(火)(県医)第167回宮崎県医師会臨時代議員会について

当日の進行及びスケジュールの確認が行われ、事業計画は富田副会長、収支予算は吉田常任理事が報告することとなった。また、選挙細則に則り、平成30年5月1日に就任した36名の代議員に対して、選挙期日等を通知することが承認された。

6. 6/23(土)・24(日)第142回日本医師会定例代議員会並びに第143回日本医師会臨時代議員会の開催について

5月22日に選挙が行われる次期日医代議員が対象となる会議で、決定次第、日医に報告することが承認された。

7. 第143回日本医師会臨時代議員会(6月24日(日)日医)における九州ブロック代表質問・個人質問について

5月22日に選挙が行われる次期日医代議員が対象となる会議で、役員で希望する質問等があれば、事務局まで申し出ることが承認された。

8. 宮崎県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会の委員への就任について

保険者が実施する保健事業が効果的かつ効率的に展開されるよう支援する委員会
で、県糖尿病対策推進会議に対して推薦依頼があり、金丸常任理事を推薦することを承認した。

9. 東京都受動喫煙防止条例(仮称)に関する賛同署名への協力依頼について

東京都医師会が行う署名活動に協力することが承認された。なお、締切等の関係から、会員に対しては、メーリングリスト等を通じて県医師会から直接広報することとなった。

10. 業務委託について

- ①小児科専門研修医症例研究事業に関する業務の委託契約について
→県内の小児医療機関と大学が共同で症例研究会等を実施することによって、小児科専門研修医の資質向上と小児医療の充実を図る事業で、契約を締結することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
 2. 4月末日現在の会員数について
 3. 4/26(木)(日医)日医ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」について
 4. 4/28(土)(宮観ホテル)宮崎県臨床研修医説明会/新研修医祝賀会について
 5. 4/27(金)(県企業局)県認知症疾患医療センター合同会議について
 6. 4/26(木)(ホテルJALシティ宮崎)在宅医療研修会企画小委員会について
 7. その他
- ①5/1(火)(県医)治験審査委員会について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 5/28(月)(東京)2018武見セミナーパートⅠのご案内について
武見敬三議員の東京都選出参議院議員活

動5年間を総括し、未来に向けて更なる活躍を期待し開催する支援者集会で、協力することが承認された。

2. 選挙対策本部事務所開きの開催について

県医師会長を務める河野委員長宛への出席要請で、前日に福岡県で九医連の会議も開催されており、出席する方向でスケジュールを調整することが承認された。

平成30年5月15日(火)第5回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県慢性腎臓病(CKD)対策連絡協議会委員の推薦及び就任について
→慢性腎臓病に関する正しい知識の普及と人材育成等を目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き池井常任理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

- ①第237回全国禁煙アドバイザー育成講習会in宮崎の名義後援について
→昨年に引き続き「広げよう禁煙支援の輪－ほんの少しは0じゃない」をテーマに開催される禁煙アドバイザー育成講習会で、名義後援を行うことが承認された。
- ②「医療分野における電波の安全性に関する説明会」に対する名義後援について
→対象者及び具体的な講演内容等について、資料を集め再度協議することが承認された。

3. 第167回宮崎県医師会臨時代議員会について

任期満了に伴う県医師会役員等の立候補受付が、本日17時に終了し、候補者が確定したことが報告された。また、選挙細則第8条の規定により、候補者名簿を代議員及

び各郡市医師会長に通知することが承認された。

4. 社会保険医療担当者の監査の実施に係る立会について

1 医療機関を対象に行われる監査で、小牧常任理事を立会人として派遣することが承認された。

5. 平成30年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第1回)の開催について

全国的なメディカルコントロール体制の更なる充実強化を目的に開催される連絡会で、参加者については、今後の開催状況も踏まえ小牧常任理事が担当理事を中心に人選することが承認された。

6. 都道府県医師会予防・健康づくり(公衆衛生)担当理事連絡協議会の開催について

日本健康会議や各地域における予防・健康づくりの取組事例等を検討する連絡協議会で、高村常任理事がテレビ会議で参加することが承認された。

7. 業務委託について

①平成30年度医療労務管理支援事業の委託依頼について

→昨年と比べ「医療労務管理アドバイザー」2名の常駐と、「電話対応相談員」1名の確保を条件に大幅に増額された委託事業で、委託契約を締結することが承認された。

②認知症地域医療支援事業の委託契約について

→主に、認知症サポート医フォローアップ研修、かかりつけ医認知症対応力向上研修、みやざきオレンジドクター普及、多職種連携強化、医療従事者向け認知症対応力向上研修を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

③県立学校の児童・生徒を対象とする心臓検診の委託契約について

→主に、県立高等学校の1年生を対象に行われる心臓検診の委託契約で、次年度以降、委託料の増額について県に要望したことが報告されると共に昨年同様、生徒1人当たり2,268円(税込)で契約を締結することが承認された。

④県立学校児童生徒の定期健康診断における結核健康診断業務の委託契約について
→学校医が定期健康診断の際、結核健診が必要と認めた生徒に対して行われる結核健康診断業務で、診療報酬改定に伴う変更部分を調整した上で、委託契約を締結することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 5/9(水)(支払基金)支払基金幹事会について
3. 5/11(金)(宮大医学部)地域医療現場における働きやすい環境を考える会について
4. 5/14(月)(県医)広報委員会について
5. 5/14(月)(県医)県糖尿病対策推進会議小幹事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 5/20(日)「河野しゅんじ県政報告会」のご案内について

旭化成陸上部顧問の宗茂氏をお招きし開催される報告会で、関係団体の支援状況も踏まえ、協力することが承認された。

平成30年5月22日(火)第2回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について

① 6/16(土)(潤和会記念病院)「NPO法人日本医師事務作業補助者研究会第11回宮崎地方会」名義後援申請について
→医師の業務負担軽減や診療支援につな

がることを目的に開催される研究会で、名義後援を行うことが承認された。

- ②11/3(土)・4(日)(福岡)「第9回九州在宅医療推進フォーラムin福岡」への後援について

→九州各県持ち回りにより、今年度は、「Nothing about us without us. (私たちのことを私たち抜きに決めないで) ~当事者参加型の介護・福祉・医療を語ろう~」をテーマに、福岡で開催される研修会で、名義後援を行うことが承認された。

2. 7/4(水)(日医)第1回外国人医療対策会議の開催について

今後増加が予想される外国人に対する医療提供について、課題や方策を総合的に議論することを目的に開催される会議で、地域医療担当の池井常任理事がテレビ会議で参加することが承認された。

3. 「平成30年度地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会」の開催について

診療報酬の「地域包括診療加算」、「地域包括診療料」の施設基準となっている“慢性疾患の指導に係る適切な研修”に該当する研修会で、テレビ会議による動画配信を受け、全会員に案内すると共に各郡市医師会に情報提供することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 5/21(月)(魚安)小児救急医療体制に関する宮大小児科との意見交換会について
3. 5/19(土)(日医)都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会(仮称)」連絡協議会・学術大会について
4. 5/20(日)(県医)日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会について
5. 5/21(月)(県医)広報委員会について

6. 5/21(月)(県医)麻しん発生に備えた関係者連絡会議について

7. 4/25(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

8. 5/19(土)(県医)産業医研修会について

9. 4/26(木)(宮崎市)社会保険医療担当者の監査について

10. 5/16(水)(日医)都道府県医師会勤務医当理事連絡協議会について

11. 4/26(木)・5/15(火)(宮大医学部)宮大医学部医の倫理委員会について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 5/20(日)(宮観ホテル)河野しゅんじ県政報告会について

平成30年5月29日(火)第6回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 公益財団法人宮崎県移植推進財団役員の就任について

任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き河野会長を評議員として推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①「医療分野における電波の安全性に関する説明会」に対する名義後援について
→安全に電波を利用することが可能な環境の整備を目的に開催される説明会で、事業内容等を再確認した上で、名義後援を行うことが承認された。

3. 平成30年度医師臨床研修について

死体検案の意義と役割を理解するために、臨床研修医が宮崎北警察署及び南警察署における死体検案を見学するもので、その対応を県警察医会に依頼することが承認された。

4. 会費減免申請について

高齢による会費減免(県医)1名と臨床研修医109名(1年次53名, 2年次56名)の会費減免(日医・県医)が承認された。

5. 業務委託について

①生活習慣病検診従事者研修事業に係る業務の委託契約について

→特定健康診査・特定保健指導, 胃・子宮・肺・乳・大腸がん検診に従事する医療関係者の資質向上を目的に研修会を実施する事業で, 契約を締結することが承認された。

②緩和ケア研修事業に係る業務の委託契約について

→緩和医療に取り組んでいる医療従事者を対象に, 地域連携や在宅緩和ケアを含んだ研修会を開催する事業で, 委託契約を締結することが承認された。

6. 6・7月の行事予定について

6月の新規行事について確認が行われた。

7. その他

①職員諸規定について

→新たに制定する管理職の手当及び廃止する公用車に関する規程について, 経過等の説明が行われ, 6月5日の理事会に上程することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 5/24(木)(宮大)宮大学長選考会議について

3. 5/25(金)(宮崎観光ホテル)宮崎市郡医師会5月例会並びにしのめ医学会特別講演会について

4. 5/27(日)(東京)全国有床診療所連絡協議会役員会について

5. 第2回全国医師ゴルフ選手権大会チャンピオン戦について

6. 5/26(土)(県医)死体検案研修会について

7. 5/23(水)(宮崎市)社会保険医療担当者の監査について

8. 5/26(土)(高知)男女共同参画フォーラムについて

9. 5/23(水)(県医)病院部会・医療法人部会合同理事会について

10. 5/25(金)(県医)認知症サポート医フォローアップ研修会について

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	a	c, d	d	d	a, e	b, d	c	a	d

県 医 の 動 き

(6月)

1	ピンクリボン活動みやざき実行委員会	15	都道府県医師会予防・健康づくり(公衆衛生)担当理事連絡協議会(日医TV会議) (高村常任理事)
2	(福岡)九医連常任委員・次期会長合同会議(会長) (福岡)九医連常任委員・次期日医代議員協議会(会長他) (福岡)九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議(会長他)	16	医協通常総代会(富田理事長他) 県医連執行委員会(河野委員長他) 県医定例代議員会(会長他) 第3回理事会(会長他) 県医臨時代議員会(会長他) 県医総会(会長他)
3	医療メディエーター研修会(導入編) (富田理事長他) (東京)横倉義武日医会長候補選挙対策本部事務所開き(会長)	17	自民党宮崎県第一選挙区支部総会(河野委員長)
4	勤務医部会監査 勤務医部会理事会(富田副会長他) 県整形外科医会会計監査	18	県産婦人科医会と宮崎市郡小児科医会との意見交換会(嶋本理事) 県有床診療所協議会役員会(会長他)
5	県学校保健会理事・評議員会(会長他) 学校保健・学校安全に係る表彰審査会(会長) 治験審査委員会(富田副会長他) 第2回理事会(会長他) 第3回全理事協議会(会長他) 医協理事会(富田理事長他)	19	県移植推進財団評議員会(会長) 第8回常任理事協議会(会長他)
6	ふれあいパーティー打合会(荒木常任理事他) 日本産科婦人科学会専門医制度地方委員会 労災部会会計監査	20	産業医部会理事会(会長他)
7	宮大医学部附属病院マッチング説明会&県内基幹型臨床研修病院説明会(会長) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会(金丸常任理事)	21	県アイバンク協会評議員会(会長) (ホテル四季亭)児湯医師会総会 社会保険医療担当者の監査 病院部会・医療法人部会総会(池井常任理事)
8	学校医部会理事・評議員会(会長他) 都道府県医師会組織強化担当役員連絡協議会(日医TV会議)(立元常任理事) (日医)都道府県医師会組織強化担当役員連絡協議会(荒木常任理事)	22	(東京)九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議(会長他) 広報委員会(荒木常任理事他) (西諸医師会館)西諸医師会定時総会
9 10	(長崎)日医公衆衛生委員会答申・報告会 (吉田常任理事)	23	県専門研修合同説明会 (日医)日医定例代議員会(会長他)
11	県臨床研修・専門研修運営協議会WG (金丸常任理事) 広報委員会(富田副会長他)	23 { 24	(日医)九州ブロック日医代議員連絡会議 (会長他)
12	第7回常任理事協議会(会長他)	24	眼科女性医師の集い(荒木常任理事) 自民党県連選挙対策委員会(小牧常任執行委員) (日医)日医臨時代議員会(会長他)
13	支払基金幹事会(会長) 治験審査委員会打合会(富田副会長他)	25	宮崎市郡医師会予防接種勉強会(TV会議) (高村常任理事) 宮大経営協議会(会長) (西都市西児湯医師会)西都市西児湯医師会定時総会
14	園医部会理事会(会長他) 県産婦人科医会常任理事会(嶋本理事) (千葉)全国国保険組合協会通常総会(秦理事長)	26	医協理事会(河野理事長他) 河野知事推薦状交付式(河野委員長他) 第4回全理事協議会(会長他)
15	(福岡)九州ブロック医師の育成を考える会総会(金丸常任理事) (日医)都道府県医師会予防・健康づくり(公衆衛生)担当理事連絡協議会(吉田常任理事)	27	労災診療指導委員会(川野理事)
		29	医師国保組合定例事務監査(秦理事長他) 勤務医部会前期講演会(山村副会長他) 勤務医部会総会(山村副会長他) DV被害者保護支援ネットワーク会議 (荒木常任理事)
		30	産業医部会総会・研修会(TV会議) (濱田副会長他) (福岡)全国有床診療所協議会九州ブロック役員会(会長)

追 悼 の こ と ば

西諸医師会

内村成良先生

(大正15年6月15日生 93歳)

弔 辞

本日、ここに故内村成良先生の告別式が執り行われるにあたり、西諸医師会を代表致しまして、先生の御霊に謹んでお別れのことばを申し上げます。

先生は、6月7日15時39分に享年93歳のご生涯を静かに閉じられました。我々医師会員一同深い悲しみに包まれているところでございます。

会者定離、生者必滅は、世の常とは申しながら、先生は、遼遠なる安息の地へと旅立ってしまわれたのであります。

私共医師会の長老として、会員が等しく尊敬申し上げます先生をここに失ったことは、誠に痛恨の極みであり、長寿を全うされたとはいえ、内村大介先生をはじめ、ご親族の皆様のご心中如何ばかりかとお察し申し上げ、ただただ、心から哀悼の意を表する次第でございます。

思い起こせば先生は、大正15年6月15日、この世に生を享けられ、幼少にしてその才誉れ高く、長ずるに及び医学の道に志を立てられ、県立鹿児島医学専門学校に進まれ、昭和24年3月、ご卒業になられたのであります。

その後、昭和25年8月には県立鹿児島保養院、昭和27年5月には国立肥前療養所、昭和30年9月には鹿児島市立病院、昭和34年11月には都城新生病院に勤務ののち、昭和38年5月には現在の地、小林に内村病院を開設され、昭和45年9月には医療法人浩然会を設立し、理事長兼院長に就任されたのであります。

また、当医師会におかれましては、昭和53年4月から昭和55年3月において、理事を務められ医師会活動にも積極的に貢献されると共に、会の組織強化と健全な運営を図り、医道の高揚に努められました。



また、学校医としても昭和41年から平成16年までの39年間の長きにわたり、児童生徒の健康管理、保健指導にも積極的に意をそそがれ、先生の温厚誠実なお人柄は地域住民にも敬愛され厚く信望を集めておられました。

また、宮崎県精神保健協議会小林支部副支部長、西諸地区精神保健福祉協議会副会長、宮崎県精神医療審査会会長や、平成4年2月から平成18年5月までは宮崎県精神科病院協会監事、平成2年4月から平成13年12月までは日本精神科病院協会代議員などの要職も歴任され、当地域にとどまらずご活躍をされておられました。

さらに先生の献身的なご功績に対し、昭和63年に精神保健福祉事業功労者県知事表彰、平成元年に精神保健福祉事業功労者厚生大臣表彰、平成26年に瑞宝小綬章を受章されておられます。

病床に臥されるまでの九十有余年の長き歳月を精神科医として、地域医療のために、身を捧げてこられたのであります。

私共、後に続くものとして、改めて深甚の敬意を表しますとともに、感謝の気持ちで一杯であります。

先生が築きあげられました内村病院は、西諸医師会長に就かれている現理事長の大介先生が、先生のご意志を引き継がれ、地域医療の担い手として、ご活躍中で、後顧の憂いもなきものと思います。

今、医療行政は大きく変革しようとしており、私共医師は、将来への展望が見出せない状況にあります。先生、これからは、天国で私共西諸医師会をどうぞお守り下さい。

内村成良先生、惜別の情つくし得ませんが、ここに先生の長年に渡るご功績に対し、あらためて深甚の敬意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。また、私共会員一同、微力ながら地域医療の発展に努めることをお誓いし、お別れの言葉と致します。

先生、どうぞ安らかに眠り下さい。

平成30年6月9日

西諸医師会

副会長 園田定彦

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成30年 6 月12日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 7人

1) 男性医師求職登録数 6人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	4	2	2
外 科	1	0	1
老 健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 1人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
眼 科	1	0	1

2. 斡旋成立件数 63人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 30 年 度	0	1	1
平成16年度から累計	46	17	63

3. 求人登録 91件 342人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	100	76	24	消 化 器 外 科	4	2	2
外 科	30	24	6	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	26	22	4	健 診	8	5	3
精 神 科	16	14	2	泌 尿 器 科	2	1	1
脳 神 経 外 科	12	8	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	10	7	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	15	12	3	皮 膚 科	5	2	3
麻 酔 科	13	10	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	7	4	3	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	11	10	1	人 工 透 析	7	5	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	1	1	0
呼 吸 器 科	3	3	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科・内 科	3	3	0	診 療 科 目 不 問	3	3	0
神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	10	9	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	1	1	0
リハビリテーション科	4	4	0	そ の 他	11	8	3
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	342	266	76

求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌糖内,呼内,リウ, 神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮 崎 市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230184	グリーンケア学園木花台	宮 崎 市	内	1	非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	内	1	非常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	4	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内,胃内,消内,呼内,循内 (いずれか)	1	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,麻	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230190	稲原眼科医院	日 向 市	眼	1	非常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外, 眼,健診	13	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設 なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内	1	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230166	医)秀英会 介護老人保健施設 長寿の里	串 間 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 日南春光会病院	日 南 市	外,内	4	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放	5	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成30年6月12日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ：2,022.17㎡(612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡(691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 1,400.48㎡(424.38坪) ※別途駐車場あり(20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡(603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ 2階 638.35㎡ 1,109.76㎡(336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者：(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡(1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡(250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡(501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 829.40㎡(251.33坪) ※駐車場あり(50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡(265.15坪) 建物：木造瓦葺平家建 1階 114㎡(34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179
E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

医師国保組合だより

保健事業のご案内

医師国保組合では、下記の保健事業を実施しております。それぞれの実施期間及び接種期間は平成31年3月末日までです。ぜひご利用ください。

1 健康診断

対 象 者	次のいずれかに該当する被保険者の方々です。 ①組合員、高齢組合員並びにその配偶者 ②ご家族のうち、本年度中に満40歳になる方～74歳の方
実施機関	各地域の健診機関並びに医療機関 ※自院で実施されても請求できますので「健康診断個人票」により申請してください。 ※宮崎市郡医師会成人病検診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。但し、子宮頸がん検診、内視鏡検査は実施できません。(予約は当組合にお電話ください) ①実 施 日：平成30年9月9日(第2日曜日)、10月21日(第3日曜日) 平成31年1月20日(第3日曜日)、2月3日(第1日曜日) 2月17日(第3日曜日)、3月3日(第1日曜日) ②定 員：各30名

2 その他保健事業

請求方法等の詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

胃・大腸内視鏡検査の補助	肺炎球菌ワクチン接種補助
低線量ヘリカルCT肺がん検診	歯科健康診査
脳ドック等の補助	

医師国保からのお知らせ

<資格確認調査の実施について>

現在、組合員及び被保険者の資格確認調査を実施しております。県内に住所を有すること、医療及び福祉の事業又は業務に従事する者であること等の資格確認を行うものです。7月31日(火)までに調査書のご提出をお願い申し上げます。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保に既にご加入の方は、事業所が法人化する等で健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※ 申請書は、当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

医師資格証を持ちましょう

『医師資格証』はHPKI（保健医療福祉分野公開鍵基盤）の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです

医師資格証は
5年ごとの
更新になりました

申請方法と
受け取り方法が
変更になりました

年間利用料が
廃止されました

2年ごとの
オンライン更新が
不要になりました

診療情報提供書等への HPKI電子署名に対応しています

医師資格証 ご利用シーン



地域医療連携内での
診療情報提供書への
HPKI電子署名

（平成28年診療報酬改定において加算を算定することが可能）

電子処方せん発行時の
HPKI電子署名に使用



日医生涯教育制度、認定
医、かかりつけ医など各
種研修時の受講履歴、
取得単位管理に使用

地域医療連携システムへ
のログイン認証

ログイン



医師資格証ポータル
サイトの利用



治験データへの
HPKI電子署名



文書交換サービス
の利用



身分証としての活用
JAL DOCTOR登録制度
などへの任意登録に使用
する

※医師資格証を身分証として活用できるように各企業、行政機関に働きかけを行なっています



日本医師会 電子認証センター

Japan Medical Association Certificate Authority

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス17階

詳しくは日本医師会電子認証センターホームページをご覧ください。 <http://www.jmaca.med.or.jp/>



日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX：0985-27-6550

きりとりせん

お名前： _____

ご所属： _____

TEL : FAX :

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年 6 月26日

7			月		
1	日	10:00 (大阪)レジナビフェア			15:00 県外科医会理事・評議員会 15:00 県整形外科医会・評議員会
2	月	19:00 県警察医会協議会 19:00 県医医学会役員会	14	土	15:30 県外科医会総会 15:30 県整形外科医会総会 16:10 労災部会総会 17:00 県外科医会・県整形外科医会・ 労災部会合同学会 終了後 県整形外科医会理事会
3	火	16:00 (日医)日医連執行委員会 18:00 治験審査委員会 19:00 第9回常任理事協議会			
4	水	13:00 第1回外国人医療対策会議(日医TV会議) 19:00 在宅医療研修会企画小委員会	15	日	10:00 (東京)レジナビフェア
			16	月	(海の日)
5	木	14:40 みやざき子育てサポートセン ターサポート会員養成講座 19:00 医師国保組合理事会	17	火	19:00 第10回常任理事協議会
			18	水	19:00 各専門分科医会長会
6	金	14:00 県医療介護推進協議会 14:30 東九州メディカルバレー構想宮 崎県推進会議 16:00 県医療審議会 19:00 県周産期医療協議会	19	木	17:30 内外情勢調査会・宮崎支部懇談会 18:30 社会保険医療担当者(医科)の新規集団指導 20:30 新規保険医療機関への説明会
			20	金	13:00 自民党連国・県に対する要望ヒアリング 19:00 医師国保組合通常組合会 終了後 医師国保組合理事会
7	土	12:00 県認知症高齢者グループホーム 連絡協議会理事会 13:30 県認知症高齢者グループホーム 連絡協議会総会・研修会 17:00 (鹿児島)九医連常任委員会 18:00 (鹿児島)九州医連連絡会常任執 行委員会	21	土	16:00 (福岡)九州医師協同組合連合 国 会購買・保険部会 保
			22	日	12:30 (福岡)日本プライマリ・ ケア連合学会九州支部 役員会 審
			23	月	19:00 広報委員会 査
			24	火	15:10 (日医)日医連常任執行委員会 15:30 (日医)日医連執行委員会 17:00 (東京)日医役員就任披露パーティー
8	日	9:00 (鹿児島)九医連常任委員会視察 17:00 衆議院議員江藤拓「希望ある未 来を拓く」政経セミナー 18:30 内閣総理大臣安倍晋三先生を囲む会	25	水	15:00 労災診療指導委員会
			26	木	19:00 労災部会自賠委員会 19:45 損害保険医療協議会
9	月	13:00 県地方独立行政法人評価委員会	27	金	13:00 (東京)九州各県アイバンク連絡協議会・ 全国アイバンク連絡協議会 15:00 県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会
10	火				
11	水	13:00 社会保険医療担当者の監査 16:30 支払基金幹事会 19:00 宮崎市郡医師会7月例会並びに特別講演会 19:00 広報委員会	28	土	12:00 (山口)全国有床診療所連絡 協議会総会 13:00 県産婦人科医会 新生児蘇生法講習会 14:00 人体シミュレータを用いた 在宅医療研修会
12	木	19:30 県産婦人科医会常任理事会 終了後 県産婦人科医会情報システム・広報委員会	29	日	9:00 (山口)全国有床診療所連絡 協議会総会
13	金	17:00 (沖縄)九州各県保健医療福祉主管部 長・九州各県医師会長合同協議会	30	月	11:15 県国保連合会理事会 13:00 県国保連合会通常総会
			31	火	18:30 第5回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局との意見交換会

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成30年 6 月26日

8			月		
1	水	19:00 生活習慣病検診各部会長連絡会議 19:00 若手記者と広報委員会との懇談会	17	金	18:30 県外科医会夏期講演会
2	木		18	土	13:00 (長崎)中四九地区看護学校協議会 14:30 産業医研修会(前期) 15:00 母体保護法指定医師研修会 15:00 学校医部会総会・医学会(TV会議) 15:30 (長崎)九州地区医師国保組合 連合会理事会 16:00 (長崎)九州地区医師国保組合 連合会全体協議会
3	金				
4	土	13:45 県プライマリ・ケア研究会 世話 人会・総会・研修会 14:00 人体シミュレータを用いた在宅 医療研修会			
5	日	9:00 人体シミュレータを用いた在宅 医療研修会	19	日	9:00 (長崎)中四九地区看護学校協議会 宮崎から医師を目指そう! フォーラム
6	月		20	月	
7	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第11回常任理事協議会	21	火	19:00 第12回常任理事協議会
8	水	14:00 県がん診療連携協議会 16:00 支払基金幹事会	22	水	15:30 宮大学長選考会議 19:00 広報委員会
9	木	19:30 県産婦人科医会全理事会	23	木	
10	金		24	金	
11	土	(山の日) 9:00 医療メディエーター研修会(基 礎編)	25	土	14:00 在宅医療協議会役員会 15:00 宮崎県医師会在宅医療協議会 総会・研修会 15:00 (鹿児島)九医連常任委員会 17:00 (鹿児島)九医連定例委員総会 18:10 (鹿児島)九州医連連絡会執行委員会
12	日	9:00 医療メディエーター研修会(基 礎編)	26	日	9:55 地域包括加算・ 地域包括診療料に係る かかりつけ医研修会(TV会議)
13	月		27	月	
14	火		28	火	19:00 第 6 回全理事協議会
15	水		29	水	15:00 労災診療指導委員会
16	木		30	木	
			31	金	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード(当日，参加証を交付)

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会(胃・大腸・肺・乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月5日(木) 19:00～21:00 県医師会館	化学物質の労働衛生管理について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第15回宮崎小児感 染症研究会 7月5日(木) 19:00～20:40 MRT-micc	小児の副鼻腔炎について 獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授 春名 真一	8 (1.0)	◇主催 宮崎県耳鼻咽喉科医会 ◇共催 宮崎県小児科医会 宮崎小児感染症研究会 宮崎県臨床衛生検査技師会 ※Meiji Seika ファルマ(株) ☎0985-25-6215
平成30年度心臓検 診二次検討会(後期) 7月6日(金) 19:00～21:00 日向市東臼杵郡医 師会館	症例検討会 なかむら内科循環器内科 院長 中村 剛之	11 (0.5) 33 (0.5) 43 (0.5) 44 (0.5)	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
延岡医学会学術講演会 7月6日(金) 19:00～20:30 エンシティホテル延岡	アドヒアランスからみた心房細動とDOAC 都城市郡医師会病院循環器科 副院長 岩切 弘直	47 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 第一三共(株) ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	----- これからの病院経営―病診連携を見据えて― 東病院 院長 東 謙二	6 (0.5)	
		12 (0.5)	
宮崎市郡産婦人科医会7月例会 診療報酬改定説明会 7月7日(土) 15:00～16:00 宮崎市郡医師会館	平成30年度4月診療報酬改定のポイントと留意点について 宮崎大学医学部附属病院 病院教授 山口 昌俊	0 (0.5) 6 (0.5)	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
第15回九州臨床糖尿病医会セミナー 7月7日(土) 16:40～19:30 シーガイアコンベンションセンター	行動修正と薬物治療の最新トピック かたやま内科クリニック 院長 片山 隆司	82 (0.5)	◇主催 九州臨床糖尿病医会 ◇共催 宮崎県内科医会 ※サノフィ(株) ☎0120-852-297
	肥満・糖尿病における摂食と運動の新たな理解 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野 教授 中里 雅光	23 (0.5)	
	インスリンを敗戦処理投手にしないために 順天堂大学 名誉教授 河盛 隆造	76 (0.5)	
プライマリ・ケアに役立つKAMPO実践セミナー 7月7日(土) 18:00～19:30 KITEN	明日から使える漢方薬 一症例から学ぶ痛みの治療戦略― 児玉整形外科クリニック 柳井谷 深志	60 (0.5) 61 (0.5) 83 (0.5)	◇主催 宮崎県東洋医会 ◇共催 宮崎県内科医会 ※(株)ツムラ ☎0985-28-9663

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
平成30年度第1回 日本東洋医学会福岡・宮崎合同県部 会宮崎中継 7月8日(日) 13:00～16:00 宮崎大学医学部附 属病院 参加費:3,000円 (学生は無料)	腰痛・関節痛に対する漢方治療 飯塚病院漢方内科 井上 博喜	60 (0.5)	◇主催 ※日本東洋医学会九州支部宮崎県部会 ☎0985-85-0988 ◇共催 日本東洋医学会九州支部福岡県部会 宮崎県医師会東洋医学会
	「痛み」に関して鍼灸を漢方の臨床に活かすポイント 鍼灸高野 代表 高野 義章	83 (0.5)	
	痛みと漢方ー神経障害性疼痛に対する作用ー 九州大学病院薬剤部 准教授 江藤 伸昭	83 (0.5)	
千年カルテの現状 と未来一人・生命・ 生活への貢献を目 指してー 7月10日(火) 16:00～18:00 KITEN	次世代医療基盤法施行!、他 内閣官房健康・医療戦略室 参事官 岡本 利久 他	9 (2.0)	◇主催 ※日本医療ネットワーク協会 ☎050-1749-6666 ◇後援 宮崎県医師会
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 7月10日(火) 18:50～20:30 ホテル中山荘	深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症について ーDOACの新たな可能性ー 人吉医療センター循環器内科 部長 中村 伸一	12 (0.5) 74 (0.5) 78 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ◇共催 バイエル薬品(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
宮崎県医師会産業 医研修会 7月11日(水) 14:00～16:00 県医師会館	ストレス軽減へのストレス対処法と面接指導 産業保健相談員 宮崎大学医学部 名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の専門研修会:2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
南那珂医師会生涯 教育医学会 7月11日(水) 18:50～20:00 南那珂医師会館	2型糖尿病治療の新たな展開 日南市立中部病院 副院長 中津留 邦展	76 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 MSD(株)
宮崎市郡医師会7 月例会並びに特別 講演会 7月11日(水) 19:00～21:30 宮崎観光ホテル	窓口での患者トラブルを予防する仕組みづくり 株式会社日本経営 課長 落合 健太	0 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434 ◇共催 (株)宮崎銀行
都城市北諸県郡医 師会外科医会学術 講演会 7月12日(木) 19:00～20:30 グランドパティオ 都城	逆流性食道炎に対するボノプラザンの使用経験から見 えてきたものとは？－患者さん，クリニックスタッフ， 医師が協働して最適化を目指すGERD診療・当院の 試み－ さだもと胃腸内科クリニック 理事長 貞元 洋二郎	4 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡医師会外科医会 ◇共催 大塚製薬(株) 武田薬品工業(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
	最近の脳血管内治療について 宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野 講師 大田 元	10 (0.5) 52 (0.5)	
第118回江南医療連 携の会症例検討会 7月12日(木) 19:00～20:45 宮崎江南病院	最近の胃手術症例 宮崎江南病院外科 米盛 圭一	53 (0.5)	◇主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院 ☎0985-52-4004
	Dupuytren拘縮の治療戦略 宮崎江南病院形成外科 大安 剛裕	0 (0.5)	
	外傷性膝蓋骨脱臼の治療経験 宮崎江南病院整形外科 吉川 大輔	57 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 7月13日(金) 19:00～20:30 ホテルベルフォー ト日向	循環器医師が考えるフォシーガ錠の使い方 桜橋渡辺病院心血管センター センター長 岩倉 克臣	73 (0.5) 76 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡薬剤師会 小野薬品工業(株) アストラゼネカ(株)
延岡医学会学術講演会 7月13日(金) 19:00～20:00 エンシティホテル 延岡	間質性肺炎を紐解くー抗繊維化薬を使用するためにー 熊本大学生命科学研究部呼吸器内科学分野 教授 坂上 拓郎	45 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 宮崎県病院薬剤師会 延岡市西臼杵郡薬剤師会 日本ペーリンガーインゲルハイム(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0985-21-1300
宮崎県外科医会・ 宮崎県整形外科医 会・宮崎県医師会 労災部会合同学会 7月14日(土) 17:00～18:00 県医師会館	スポーツ外傷・障害における骨盤・胸郭機能の重要性 鹿屋体育大学保健管理センター 教授 藤井 康成	11 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月17日(火) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	化学物質の労働衛生管理について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第26回児湯内科医 会学術講演会 7月17日(火) 19:10～20:10 ホテル四季亭	宮崎県における多発性嚢胞腎に対するサムス力導入の 実際 宮崎大学医学部附属病院血液浄化療法部 准教授 佐藤 祐二	4 (1.0)	◇主催 児湯内科医会 ◇共催 大塚製薬(株) (連絡先) 児湯医師会 ☎0983-22-1641
宮崎県医師会産業 医研修会 7月18日(水) 19:00～21:00 県医師会館	事例で学ぶ職場巡視のポイント 産業保健相談員 谷山 ゆかり 生涯研修の实地研修会：2単位	1 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第215回宮崎県泌尿 器科医会 7月19日(木) 18:30～20:30 宮崎観光ホテル	当科における尿路上皮癌の治療 宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座 泌尿器科学分野 准教授 向井 尚一郎 ----- 転移性尿路上皮癌治療のUp To Date 筑波大学医学医療系腎泌尿器外科学 教授 西山 博之	66 (0.5) ----- 65 (1.0)	◇主催 宮崎県泌尿器科医会 ◇共催 MSD(株) 大鵬薬品工業(株) (連絡先) 宮崎県泌尿器科医会 (宮崎大学医学部泌尿器科内) ☎0985-85-2968
宮崎県ウイルス性 肝炎セミナー 7月19日(木) 18:50～20:35 ホテルJALシティ 宮崎	高齢C型慢性肝疾患患者におけるハーボニー配合錠の 治療成績 宮崎大学医学部附属病院肝臓内科 大園 芳範 ----- B型肝炎における最近の話題 兵庫医科大学内科学肝・胆・膵科 主任教授 西口 修平	1 (0.5) ----- 19 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ギリアド・サイエンス(株) ☎0120-506-985 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
骨粗鬆症フォーラム in 宮崎 7月19日(木) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル	骨粗鬆症のトータルケア 信州大学医学部整形外科 講師 中村 幸男	59 (0.5) 77 (0.5)	◇主催 骨粗鬆症フォーラム in 宮崎 ◇共催 ※第一三共(株) ☎0985-23-5710
県北産婦人科医会 (7月度例会) 7月20日(金) 19:00～20:00 延岡市医師会病院	延岡の救急の現状と今後の展望について 宮崎県立延岡病院救命救急科 科長 長嶺 育弘	1 (1.0)	◇主催 県北産婦人科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第43回消化器疾患宮崎セミナー／宮崎木曜会夏季セミナー 7月21日(土) 14:45～19:00 MRT-micc 参加費:5,000円 (学生, コメディカルは無料)	肥満・糖尿病に対する外科治療 四谷メディカルキューブ減量・糖尿病外科センター センター長 笠間 和典	23 (0.5) 76 (0.5)	◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 ※EAファーマ(株) ☎092-283-7250
	内視鏡医に出来る大腸がん予防戦略 佐野病院消化器センター センター長 佐野 寧	11 (0.5) 54 (0.5) ⑦	
	胃癌の組織的特性と分子異常 岩手医科大学医学部病理診断学講座 教授 菅井 有	3 (0.5) 15 (0.5) ⑧	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第4回宮崎がんの リハビリテーショ ン研修会(2日間) 7月21日(土) 9:00～18:10 7月22日(日) 9:00～16:30 県立宮崎病院 参加費:100,000円 (一施設あたり)	(1日目 9:00～9:50) がんのリハビリテーションの概要 日南市立中部病院リハビリテーション科 鈴木 幹次郎	9 (0.5)	◇主催 宮崎がんのリハビリテーション研修会実行委員会 ◇後援 宮崎県 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 宮崎県歯科衛生士会 (連絡先) 日南市立中部病院リハビリテーションセンター ☎0987-27-1182
	(1日目 12:30～14:00) 周術期リハビリテーション 一乳がん、頭頸部がん、開胸・開腹術、脳腫瘍 宮崎市立田野病院 黒木 洋美 宮崎善仁会病院 理学療法士 吉田 裕一郎 日南市立中部病院 理学療法士 前田 篤志	24 (0.5) 45 (1.0)	
	(1日目 14:10～15:20) 化学療法・放射線療法の合併症とリスク管理 血液腫瘍、造血幹細胞移植に対するリハビリテーション 慶應義塾大学医学部 大森 まいこ	19 (0.5) 62 (0.5)	
	(1日目 15:30～16:40) 転移性骨腫瘍に対するリハビリテーション 慶應義塾大学医学部 大森 まいこ ADL・IADL障害に対するリハビリテーション 小林市立病院 作業療法士 江藤 優子	18 (0.5) 24 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第4回宮崎がんの リハビリテーショ ン研修会(2日間) 7月21日(土) 9:00～18:10 7月22日(日) 9:00～16:30 県立宮崎病院 参加費:100,000円 (一施設あたり)	(2日目 9:00～10:00) がん患者の心理的問題 宮崎大学医学部附属病院精神科 船橋 英樹	69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 宮崎がんのリハビリテーション研修会実行委員会 ◇後援 宮崎県 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 宮崎県歯科衛生士会 (連絡先) 日南市立中部病院リハビリテーションセンター ☎0987-27-1182
	(2日目 10:10～11:10) 進行がん患者に対するリハビリテーション・アプローチ 小牧市民病院 渡邊 紘章	81 (1.0)	
	(2日目 11:20～12:30) がん患者の摂食・嚥下障害、コミュニケーション障害 宮崎大学医学部附属病院 言語聴覚士 新名 由貴 口腔ケア 日南市立中部病院 言語聴覚士 横山 茂幹	34 (0.5) 47 (0.5)	
	(2日目 13:20～13:50) がんの悪液質に対するリハビリテーション 宮崎善仁会病院 理学療法士 吉田 裕一郎	18 (0.5)	
	(2日目 13:50～14:30) リハビリテーションにおける看護師の役割(症例検討含む) 宮崎県立宮崎病院 がん専門看護師 藤井 和実	10 (0.5)	
第4回地域連携で 心不全を考える会 7月24日(火) 18:45～20:20 宮崎観光ホテル	代償不全と臓器連関を考慮した急性心不全治療 北海道大学医学研究院循環病態内科学教室 教授 安斉 俊久	15 (1.0)	◇主催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119 ◇共催 大塚製薬(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
GLP- 1 Update Meeting in Miyazaki 7 月24日(火) 19 : 30 ~ 21 : 00 宮崎観光ホテル	連日投与製剤と週 1 回投与製剤の使い分け 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野 野田 智穂	22 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ノボルディスクファーマ(株) ☎0985-20-1891
	GLP- 1 受容体作動薬, 宝の持ち腐れにしないためには? 東邦大学医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野 教授 弘世 貴久	76 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 7 月26日(木) 14 : 00 ~ 16 : 00 県医師会館	発達障害—職場で取り組もう— 産業保健相談員 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会 : 2 単位	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511
		6 (0.5)	◇共催 宮崎県医師会
		11 (0.5)	
		72 (0.5)	
宮崎市郡医師会東 諸県班講演会 7 月27日(金) 18 : 30 ~ 20 : 00 綾 酒泉の杜	実臨床における糖尿病治療薬のトリセツ —未来を護るベスト・チョイス— 福岡大学医学部内分泌・糖尿病内科 准教授 野見山 崇	76 (0.5)	◇主催 宮崎市郡医師会東諸県班 ◇共催 ※小野薬品工業(株) ☎0985-61-8123
		82 (0.5)	
かかりつけ医と精 神科医—Medical Collaboration Forum—2018 7 月27日(金) 18 : 50 ~ 20 : 35 宮崎観光ホテル 【TV会議場 : 都城 ウェルネス交流プ ラザ, 日南市テク ノセンター】	SASを見逃さない為に 潤和会記念病院睡眠外来 谷山 ゆかり	69 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 宮崎県精神科医会 ※MSD(株) ☎0985-28-9496
	過量服薬で当院に救急搬送されるケースについて —睡眠薬の適正使用を考えた薬剤選択— 宮崎県立宮崎病院精神医療センター センター長 河野 次郎	20 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
延岡医学会学術講演会 7月27日(金) 19:00～20:30 エンシティホテル 延岡	脳血管リスクと認知症 佐賀大学医学部神経内科 講師 薬師寺 祐介	29 (0.5) 78 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 第一三共(株) ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第22回宮崎甲状腺疾患研究会 7月27日(金) 19:30～21:30 宮崎観光ホテル 参加費:1,000円 (学生は無料)	日常診療で注意したい(小児)甲状腺疾患—あまり教科書に書いていない, 見逃してはいけない, 誤診してはいけない, 初期診断に注意したい— 広島赤十字・原爆病院小児科 西 美和	1 (0.5) 15 (0.5)	◇主催 宮崎甲状腺疾患研究会 ◇共催 ※あすか製薬(株) ☎092-781-6551
プライマリ・ケアに役立つKAMPO実践セミナー 7月28日(土) 18:00～19:30 JA-AZMホール	KAMPOがfirst choiceとなり得る疾患と次の一手②—めまい・頭痛・夏かぜ— 近森病院総合診療科 部長 高知大学医学部 非常勤講師 浅羽 宏一	30 (0.5) 31 (0.5) 83 (0.5)	◇主催 宮崎県東洋医会 ◇共催 宮崎県内科医会 ※(株)ツムラ ☎0985-28-9663
第128回宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 7月31日(火) 18:50～20:30 宮崎観光ホテル	当科での虚血性心疾患に対するICD・CRT-D治療 宮崎市郡医師会病院循環器内科 科長 足利 敬一 遺伝性不整脈の最近の話題—J波症候群を中心に— 日本医科大学附属病院循環器内科 教授 清水 渉	15 (0.5) 9 (1.0)	◇主催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 ◇共催 アボットメディカルジャパン(株) トーアエイヨー(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月2日(木) 19:00～21:00 県医師会館	作業現場における暑熱環境対策 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	9 (0.5) 11 (0.5) 31 (0.5) 32 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月3日(金) 19:00～21:00 延岡市医師会病院	化学物質の労働衛生管理について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月18日(土) 14:30～17:30 県医師会館	職場における作業管理の工夫 三財病院 副院長 松本 英裕 基礎研修の前期研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 0 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	仕事にハンディのある方のために産業医が知っておきたいこと 宮崎大学医学部附属病院 楠元 和美 基礎研修の前期研修会：1単位	5 (0.5) 70 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月23日(木) 19:00～21:00 県医師会館	職員の面談ーまた来てもいいですかー 産業保健相談員 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第52回宮崎救急医 学会 8月25日(土) 13:00～18:00 都城市ウェルネス 交流プラザ 参加費：500円 (学生は無料)	CBRNE災害対策と医療対策の重要性 ー医療機関・消防機関に求められるものー NBCR対策推進機構 理事長 井上 忠雄	14 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 第52回宮崎救急医学会 (連絡先) 都城市郡医師会病院 ☎0986-36-8300
宮崎県医師会在宅 医療協議会総会・ 研修会 8月25日(土) 15:00～17:30 県医師会館	福岡県における在宅医療(訪問診療)の現況 福岡県医師会 常任理事 辻 裕二 ----- ICTでつなぐ県全域の医療介護連携の実際と未来ー栃 木県「とちまる・どこでもネット」4年間の経験からー 栃木県医師会 常任理事 長島 公之	80 (1.0) 12 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会 8月31日(金) 19:00～21:00 県医師会館	心療内科・精神科連携における留意点(1) 産業保健相談員 西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 9 (0.5) 14 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 9月7日(金) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 副院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第10回 認知症サ ポート医フォロー アップ研修会 9月7日(金) 19:00～21:00 県医師会館【TV会 議場：都城，延岡， 日向，児湯，西都， 南那珂，西諸，西 臼杵】	認知症のリハビリテーション：うつ病で発症した若年 性アルツハイマー病1例(仮)、他 県南病院認知症疾患医療センター センター長 藤元 ますみ 他	29 (2.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県認知症疾患医療センター
宮崎県医師会産業 医研修会 9月8日(土) 14:30～18:30 県医師会館	産業保健活動とは何か 宮崎大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野 教授 黒田 嘉紀 基礎研修の前期研修会：2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	化学物質のリスクアセスメント入門 ー主に有害物についてー COH労働衛生コンサルタント 矢崎 武 基礎研修の前期研修会：2単位	7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5) 0 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡 先
医療現場のワーク ライフバランスセ ミナー 9月22日(土) 15:00～16:30 県医師会館	医師として、社会の歯車になる 久留米総合病院 病院長 田中 真紀	1 (0.5) 6 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 地域医療現場における働きやすい環境を考える会 宮崎県医療勤務環境改善支援センター
宮崎県医師会産業 医研修会 9月27日(木) 14:00～16:00 県医師会館	ストレスチェックテストの集団分析 産業保健相談員 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5) 84 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

お知らせ

応募要項

第2回 生命いのちを見つめる フォト&エッセー

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

部門
フォト部門
エッセー部門

公式ホームページ
<http://inochi-photo-essay.com>

応募締め切り
2018年 **10月4日(木)** 必着

主催 日本医師会、国民新聞社、海南、厚生労働省
協賛 東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動火災生命保険株式会社

審査員 (順不同)

 柳川浩介 写真家、作家、NHKエッセー作家、NHK「人生劇場」監修	 紀谷光剛 作家、NHKエッセー作家、NHK「人生劇場」監修	 松下市雄 作家、NHKエッセー作家、NHK「人生劇場」監修
 豊田正典 作家、NHKエッセー作家、NHK「人生劇場」監修	 北原英久 作家、NHKエッセー作家、NHK「人生劇場」監修	 赤野真紀 作家、NHKエッセー作家、NHK「人生劇場」監修

コンテスト概要

〈日程〉

【募集締切】

2018年10月4日(木) 必着

【入賞者発表】

2019年2月頃(予定)

【受賞作品新聞紙面掲載】

2019年2月頃(予定)

【表彰式／記念パーティー】

2019年2月(予定)

〈部門〉

フォト部門 エッセー (作文)部門

〈公式ホームページ〉

<http://inochi-photo-essay.com>

診療メモ

ロボット支援手術
(da Vinci サージカルシステム)宮崎県立宮崎病院 泌尿器科 くろ いわ けんたろう
黒 岩 顕太郎

1. はじめに

ロボット支援手術は、従来の腹腔鏡手術の限界を受けIntuitive Surgical社によって開発された低侵襲手術システムである。ルネサンス期の万能の天才レオナルド・ダ・ヴィンチの名を冠したda Vinci サージカルシステム(以下ダヴィンチ)として、2000年に発売された。随時バージョンアップされ、現在は第4世代目となっている。全世界でのダヴィンチによる手術症例数は前年比10%程度の増加を発売以降示しており、2017年には80万症例を超えている。本稿ではダヴィンチの特徴と現状について述べる。

2. ダヴィンチの特徴

ダヴィンチはペイシャントカート、ヴィジョンカート、サージョンコンソールから構成される(図1)。患者の体内にセットされた鉗子

類、カメラのコントロールは全てサージョンコンソールで行う。精密な拡大画像が可能な3次元ハイビジョン、人間の手より広い可動域を持つ鉗子の鉗子機能、手振れ防止機能等により従来の腹腔鏡手術よりも精度の高い操作が可能である(図2)。実際に操作してみると鉗子の先がまるで自身の手の様に感じる事が出来るため、腹腔鏡の鉗子操作よりも快適で精密な操作が可能である。また、術者はサージョンコンソールに座って手術するため術者の身体負担は他の術式と比較して少ない。同一の視野を共有する効率的なトレーニングシステムも開発されており、安全な手術施行までの習熟も早い。欠点としては機器維持費、消耗品(手術鉗子は10回までの使用)に経費がかかる点がある。この医療経済的に不利な面に関しては、術後の早期回復による在院日数の短縮、より安価なロボットの開発、症例集積に基づく手術点数加算等による

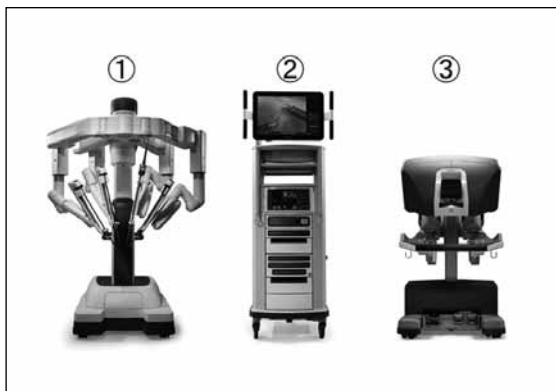


図1. ダヴィンチの構成

①ペイシャントカート, ②ヴィジョンカート, ③サージョンコンソールから構成される

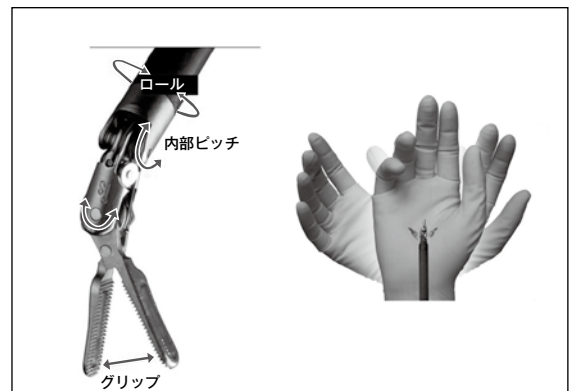


図2. ダヴィンチの鉗子構造

鉗子の関節機能により人間の手より広い可動域(7自由度)での操作が可能である

医療コストの削減が期待される。ダヴィンチは高度のハード/ソフトにより稼働する機械であるため、機械側の不良(起動しない等のシステムエラー、部品の破損等)が手術中に起こり得ることに留意が必要である(米国食品医薬品局での報告では0.4%)。また開放手術への移行の際に通常の腹腔鏡手術よりは若干時間がかかると言われている。

3. 日本での現状

本邦においては2009年に薬事承認(泌尿器、一般消化器、婦人科、胸部外科)、先進医療を経て2012年に前立腺全摘術、2016年に腎部分切除術に対してのロボット支援手術が保険収載された。現在本邦では本県を除く46都道府県290台(九州地区では7県25台)のダヴィンチが導入されている。2017年時点で前立腺全摘術、腎部分切除術のそれぞれ約80%、50%がダヴィンチによる手術となっている。以前は海外でのトレーニングが必要であったが、現在は日本国内の公認施設でのトレーニングが可能である。

4. 泌尿科領域におけるダヴィンチ手術と他の手術手技との比較

実際にダヴィンチは開放手術や腹腔鏡手術よりも優れているのであろうか? 前立腺全摘除術に関しては、経験のある外科医に絞っても制癌効果や患者QOLにおいてダヴィンチの開放手術に対する優位性が示されている。また最新のレビューによると、ダヴィンチは開放手術、腹腔鏡手術と比較して外科的断端陽性率、周術期合併症が少なかった。また、術後の性機能、尿禁制の回復もダヴィンチが優れていた。ダヴィンチにおいて医療コストが最も高かったが在院日数は最も短かった。前立腺全摘術においては一度ダヴィンチを経験すると開放手術/腹腔鏡手術に戻ろうという術者はいないと考えられており、現在ではダヴィンチによる手術を前提としてどういう症例に手術を行うべきかという議論になっている。腎部分切除術においては、ダヴィンチは開放手術よりも周術期合併症、出血、在院日数が少なかったと報告されている。腹腔鏡手術と比較してもダヴィンチにおいて手術時間と腎血管阻血時間が短く、開放手術への移行が少なく、術後の腎機能も良好で在院日数が少なかった。腎部分切除術においては、術前の3

DCTを用いたシミュレーションと術中のTileProというアプリケーションを用いたリアルタイムの(3DCT, エコー等による)ナビゲーションにより腫瘍、血管、尿路の位置関係を正確に把握した手術が可能である。これにより、これまで開放あるいは腹腔鏡下では腎部分切除術が困難であった症例(腎門部付近の腫瘍等)に対しても、安全でより精密な手術が可能になった。

5. 対象となる手術

前述のように、現在まで本邦においてはダヴィンチの保険診療は泌尿器科領域に限られていた。2018年4月に新たに12の手術が保険収載され、外科、婦人科領域においても手術症例が増加すると考えられる(図3)。これらの中にはダヴィンチの優位性が示されていない術式も含まれており今後さらなる症例集積による評価が必要である。

2012年4月	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
2016年4月	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術
2018年4月	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術
	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)
	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術
	胸腔鏡下弁形成術
	腹腔鏡下胃切除術
	腹腔鏡下噴門側胃切除術
	腹腔鏡下胃全摘術
	腹腔鏡下直腸切除・切断術
	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
	腹腔鏡下腔式子宮全摘術

図3. 保険収載されたロボット支援手術

6. おわりに

米国での発売から18年を経て本邦においても本格的なダヴィンチ時代が到来している。医療経済的な問題はあがあるが、ダヴィンチの可能性は従来の腹腔鏡手術を大きく超えるものであり、今後、腹腔鏡手術のほとんどはダヴィンチ支援下での手術に置き換わっていくと考えられる。ダヴィンチにより繊細で正確な手術が可能であり、患者のみならず術者の負担も減る。今後も適用術式の拡大が予想されるが、決して完成された機器ではないことを念頭に、安全性を常に確保していくことが必要である。

宮大医学部学生のページ



第15回 宮崎大学医学部音楽祭

宮崎大学医学部医学科4年 音楽祭実行委員長 たてのゆりえ
館野 友理恵

今回第15回宮崎大学医学部音楽祭実行委員長を務めさせていただきました。医学部4年館野友理恵と申します。本音楽祭は、「音楽を通じて地域の皆様と交流したい」という宮崎医科大学時代の学生たちの想いから始まった、学生自らが企画運営する演奏会です。その意思是宮崎大学の医学部生たちにも脈々と受け継がれ、6月9日に行われました今年度の音楽祭は、宮崎医科大学時代から数えると通算37回目の開催となりました。こうして歴史を重ねることができましたのは、地域の皆様の温かいご支援と関係者の皆様のご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

今年度音楽祭を運営するにあたり例年に加え二つの新たな試みを行いました。まず音楽祭のポスター及びチラシをカラー印刷にいたしました。本年度のポスター及びチラシ

には、無邪気なそして純粋な心で音を楽しむ動物や妖精たちの世界が描かれております。音楽には、すべての人を癒しや喜びの世界に引きこむ力があると、私は思っております。この世界観は、温かみのあるカラー印刷にすることで、より多くの方々の目にとまるに違いない、そしてこのポスターやチラシをご覧になってご来場くださった皆様と、まさにこの癒しや喜びの世界を共有したい、という想いから、例年は2色刷りのところを今年はカラー印刷にいたしました。チラシをお渡しする度に「素敵なデザインですね」というお言葉をさまざまな方からいただき、またポスター掲示をご覧になってお越しくくださったというお客様も多く、私たちの作り出そうとした世界観をしっかりとお伝えすることができたのではないかと考えております。

そして次に、今年度の音楽祭ではすべての演奏の最後に、出演者全員によるフィナーレを行わせていただきました。今年度は管打楽器部、合唱部、軽音部、室内楽部、篠懸太鼓部、アカペラサークルといった部活動のほか、オペラ、ギター独奏、ピアノ独奏、ピアノ・ヴァイオリンデュオ、オーボエ・ピアノデュオなどの個人での参加も含め、全13団体が音楽祭に出演しました。さまざまなジャ



ンルの音色をお楽しみいただいた後、最後に再び出演者全員で舞台上に立ち、ご来場くださった皆様へ感謝の気持ちをお伝えしようという試みでした。お客様からのアンケートでは、「フィナーレが良かったです」というお言葉を多数いただくことができ、嬉しく思っております。ご来場くださったすべての皆様に、私たちの想いが伝わってありましたら幸いです。

この他にも、昨年度までの反省を活かし、開演時間の変更や駐車場のさらなる台数確保などさまざまな改善をしてまいりました。それら試みに対しまして、すでにお客様から貴重なご意見をいただいております、大変ありがたく思っております。また、今年度新たに見つかった反省点も積極的に来年度以降の音楽祭に活かしていきたい所存です。

最後になりましたが、第15回宮崎大学医学部音楽祭にお越しいただいた皆様に、私たちが心を込めて奏でる音を楽しんでいただき、音楽の与えてくれる癒しや音楽と触れ合うことの喜びを共有することができておりましたら、これ以上に嬉しいことはございません。支えて下さったすべての皆様に改めて感謝いたしますとともに、今後も勉学の傍らで練習及び準備に励んでまいりますので、来年度以降もどうぞ温かく見守っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課にお問い合わせください(TEL 0985-22-5118)。

またMMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
4 月13日	・「「認知症施策等総合支援事業の実施について」の一部改正について」等のご送付について ・地域産業保健センター事業の支援対象に関する取扱いについて ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
4 月16日	・「ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業の実施について」の一部改正について ・地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について ・「平成30年度歯と口の健康週間」について ・生計困難者等の住まいにおける防火安全対策の助言等について ・平成30年度「地域における外国人患者受入れ体制のモデル構築事業」等の公募について ・「難病医療費助成制度の対象疾病拡大に係る周知用リーフレット」の送付について ・「有料老人ホームを対象とした指導の強化について」及び「有料老人ホームの設置運営標準指導指針について」等の送付について ・働き方改革実行計画を踏まえた両立支援コーディネーターの養成について ・特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令について ・高濃度ポリ塩化ビフェニルを含むコンデンサー等が使用されたX線機器の所有の有無の確認及び早期処理の周知徹底について ・「保育所における感染症対策ガイドライン」の改訂について
4 月18日	・「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」及び「指定難病に係る臨床調査個人票について」の一部改正について ・小児慢性特定疾病の疾病追加等について ・「第7回あじさいネット研究会」の開催について
4 月19日	・「情報通信機器(ICT)を利用した死亡診断等ガイドライン」に関するQ&Aについて ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No136」の提供について ・「医療法施行規則の一部を改正する省令」等の公布について ・平成30年度医療対話推進者養成セミナー開催のご案内 ・医療用麻薬の乱用防止製剤について ・第9次粉じん障害防止総合対策の推進について ・「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の一部改正について ・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・2018年度認知症短期集中リハビリテーション研修(医師対象)【東日本会場】のご案内 ・平成30年 4 月 1 日以降の要介護認定制度等の見直しに伴う関係通知の改正について ・「低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の実施について」の一部改正について ・「オンライン診療の適切な実施に関する指針」の策定について ・「無痛分娩の安全な提供体制の構築に関する提言」周知のお願いについて

送付日	文 書 名
4 月20日	・「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」の改訂について ・予防接種後健康状況調査の実施について ・特定接種管理システム登録事業者の通知メールについて ・セアカゴケグモ抗毒素について ・予防接種法施行令の一部を改正する政令及び新型インフルエンザ予防接種による健康被害の救済に関する特別措置法施行令の一部を改正する政令の施行等について ・「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」の改訂について ・麻しん発生報告数の増加に伴う注意喚起について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う各種改正について ・社会医療法人の認定要件及び特定医療法人の承認要件の見直し等について ・生計困難者に対して無料又は低額な費用で介護医療院を利用させる事業等に係る固定資産税等の非課税措置について
4 月23日	・臨床研究法に係る事務連絡の送付について ・臨床研究において使用される未承認の医薬品、医療機器及び再生医療等製品の提供等に係る医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の適用について ・特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令について
4 月24日	・「指定難病に係る臨床調査個人票」の記入上の留意事項等について ・各がん検診実施機関等登録(指定)について
4 月25日	・労災診療費算定基準の一部改定について
4 月27日	・看護師等養成課程における専門実践教育訓練の申請受付に係る周知について
5 月 2 日	・医療事故情報収集等事業第52回報告書の送付について ・「血液製剤の使用指針」の一部改定について ・医療法施行規則の一部を改正する省令等の施行について(臨床研究法の施行等に伴う改正省令規則及び関連通知の改正) ・臍帯血プライベートバンクに関する情報提供について ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 第18回集計報告」の周知について ・「使用上の注意」の改訂について ・日本HTLV-1学会登録医療機関の設置について ・「Bright Futures」ポケットガイド日本語版の日本医師会ホームページ(メンバーズルーム)への掲載について ・日本准看護師連絡協議会「市民公開講座及び交流会」の開催について ・平成29年度老人保健健康増進等事業「認知症診断直後等における認知症の人の視点を重視した支援体制構築推進のための調査研究事業『本人にとってのよりよい暮らしガイド』」の送付について ・全国健康保険協会が実施する生活習慣病にかかる重症化予防事業の推進について ・平成30年度訪問看護ステーション等整備費補助金について
5 月 7 日	・「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の送付について ・平成30年度「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・「結核医療の基準」の一部改正について ・平成30年度「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究奨励賞」候補の推薦について ・平成30年度労災診療費算定基準の一部改定に伴う自賠責保険診療費算定基準(自賠責新基準)の取扱いについて ・地域医療構想を踏まえた地域包括ケアシステムの構築のための有床診療所の在り方について ・造血細胞移植患者手帳について

あとかき



ゴールデンウィークに、2年ぶりのドイツに行ってきました。ドイツのデュッセルドルフには親友夫婦が住んでいるので、今年のお正月に当院のスタッフ家族とホームパーティーをしていた時に、「ドイツにビールを飲みに行こう!」と酔った勢いで言ってしまったら、本当に現実になってしまいました。「行こう!」と

言っただけに、スタッフのご主人と行くことになり、いいおっさん二人だけで、旅行プランは「ただドイツビールを飲みに行くだけ」というなんとも適当なドイツ旅行となりました。相棒はヨーロッパ初上陸ということもあり気分も上々!機内でもビールを飲み、ドイツに着いた初日からドイツビールをガッツリと飲んでいました。私はというと、前回の旅行で時差7時間を考えずに初日にしっかり飲んだおかげで、時差ボケも重なって人生初の不眠症に罹った経験から、初日のアルコールはほどほどにして早々に就寝。翌日は、親友がベルギーの首都ブリュッセルへ連れて行ってくれて、昼からベルギービールを堪能。ベルギーはみんなとても気さくで、5軒目に行ったビヤホールでは、あまりにも楽しくてつい音楽に合わせて踊っていたらスペイン人女性から「あなたのダンスは最高ね」って声をかけられました。その後もドイツに帰って4日間ずっとビールを飲み続け、まさにビールを飲みに行っただけ旅行でした。現在、サッカーワールドカップが盛り上がっていますが、私もビールのワールドカップなら、ドイツ、ベルギー、スペインには勝てそうです。(笑)

(野村)

* * *

先日中2の三男坊とキャッチボールをしていて、遠投勝負で負けました。短距離走でも負け、長距離走は最初から勝負にならず。垂直跳びに至っては「けがするから」と勝負前から禁止。ついにうちの家族の男の中で運動能力の最下位になってしまいました。剛速球でならした本格的エースが技巧派に変わっていくように、これからは体を上手に使いながら頑張っていこうと思います。まずは三男坊との勝負の後の休息とりハビリから始めます。

(西田)

* * *

6月といえば梅雨。毎日つい鬱々とした気分になりがちではありますが、そんな中、最近あちこちで紫陽花の花をよく目にします。我が家の庭には、小さな鉢植えていただいた紫陽花を庭に植え替え、これが毎年成長して大きくなり、この時期になると、ここぞとばかりにたくさん花が咲き、雨の中でひととき目立っています。紫陽花の花言葉は、「移り気」や「浮気」といったものが有名のようですが、「家族団らん」や「辛抱強い」、といったものもあるようです。色々な花言葉を持つ紫陽花でした。

(上山)

* * *

6月の前半は小児科で実習を行いました。実習の最終日に、入院している子どもたちと触れ合うレクリエーションの時間があるのですが、私たちの班は病室を一部屋ずつ回ってバルーンアートを作ることにしました。バルーンアートをやるのは初めてだったのですが、思ったよりも簡単にできて、練習の結果、犬、花のプレスレット、クマ、剣などが作れるようになりま

した。目の前で作って渡したら喜んでくれたので良かったです。また機会があれば作ってみたいと思います。

(二見)

* * *

先日行われた院内コンサートに、合唱部として出演しました。院内コンサートとは、宮崎大学附属病院のロビーで、音楽系の部活の医学生が患者さんを招いて行われるコンサートです。患者さんの中には、涙を流して感動してくださった方もいらっしゃいました。コンサート終了後、「皆さんの奏でる音楽で生きる活力を頂きました。もう少し治療頑張ってみようと思います」、「音楽のように優しく患者さんの心に響くお医者さんになられてください」など、多くのコメントをいただきました。患者さんからの期待を胸に、勉強も部活も頑張っていきたいと思います。

(土持)

* * *

仕事用、プライベート用、さまざまなパスワードがどんどん増えていき、覚えるのが一苦勞です。思い出せずに焦ることもしばしば…。学生さんも大学のパソコンにログインするのに、個別のID、パスワードが必要ですが、新学期早々は「パスワード、忘れました」の申し出続出。それもやや落ち着いた先日、授業開始時にある学生さんが「パスワードを忘れないように(覚えられないので)スマホで写真を撮っていたんですけど、スマホの電池が切れてしまって分かりません。充電するまで少し待ってください」と。うーん、アイデアは良かったかもしれないけど、電池切れでは残念!充電するまで待ちましょう。

(荒木)

今月のトピックス

日州医談 希望を紡ぐリハビリテーションに向けて

急速に高齢化がすすむ我が国において、リハビリテーションの重要性、必要性はますます高まっていくことは間違いありません。急性期における早期からのリハビリ介入の有効性が認められてきた一方、医療費抑制の観点から、慢性期リハビリにおける日数制限がある現状、また維持期リハビリの問題点等、現状と今後の課題について石川智信常任理事に解説していただきました。

4 ページ

はまゆう随筆 (その1)

今年も多くの投稿をいただきました。来月号と2回に分けて掲載させていただきます。娘の焼いたパンを食べる、想像するだけで胸が熱くなります。“女は自分を笑わせた男しか思い出さず”。.... 深いですね。みんな僕のこと覚えてるかな。

6 ページ

エコーリレー

サーフィン面白そうですね。学生時代にやっておけばよかったと思う事の一つです。アラフィフの今となっては体力的にも時間的にも始める勇気がありません。1週間休みをとってハワイ。自分の夢のひとつです。マラソンには出ないと思いますが。

13 ページ

診療メモ ロボット支援手術 (da Vinci サージカルシステム)

話題の手術ロボット、ダ・ビンチについて黒岩顕太郎先生に解説していただきました。従来の腹腔鏡手術より安全性や緻密性にすぐれ、侵襲も少ないとのことで、今後主流となっていくであろうとのことでした。参考までに調べてみると同社の株価も右肩上がりでした。

70 ページ

日 州 医 事 第827号(平成30年7月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副委員長 稲倉 琢也、野村 勝政
委 員 沖田 和久、山崎 俊輔、上山 貴子、植田 雄一
学 生 委 員 二見 旬祐、泉 摩依、伊澤 和範、土持 友香
担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗、佐々木 究
事 務 局 学術広報課 本崎 礼子、牧野 諭

印刷所 愛文社印刷株式会社・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)